

研究発表会開催通知

(平成元年 10 月 15 日～11 月 31 日)

研 究 会	日 時		会 場	備 考
グラフィクスとCAD	10月19日(木)	10:00～17:00	九 大	前号参照
情報システム	10月23日(月)	10:15～16:15	機械振興会館	同 上
アルゴリズム	10月24日(火)	9:30～17:00	日 本 IBM	同 上
設計自動化	10月24日(火) 10月25日(水)	13:30～16:20 9:30～17:00	明 大	同 上
知識工学と人工知能	11月8日(水)	9:45～15:15	機械振興会館	下記参照
コンピュータと教育	11月9日(木)	13:00～17:00	電 通 大	同 上
ヒューマンインタフェース	11月9日(木)	13:30～17:00	機械振興会館	同 上
オペレーティング・システム	11月10日(金) 11月11日(土)	13:00～17:00 9:30～16:15	宇 都 宮 大	同 上
ソフトウェア基礎論	11月13日(月)	10:30～17:00	A T R	同 上
コンピュータビジョン	11月16日(木)	10:30～17:15	金 沢 大	同 上
データベース・システム	11月17日(金)	10:00～15:00	広 大	同 上
アルゴリズム	11月20日(月) 11月21日(火) 11月22日(水)	9:15～17:30 8:50～17:45 8:50～16:45	福岡リーセント ホテル	同 上
計算機アーキテクチャ	11月20日(月) 11月21日(火)	13:30～18:30 9:00～16:30	神戸ポートピア 神戸国際会議場	同 上
記 号 処 理	11月22日(水)	13:00～17:00	富山県立技術 短大	同 上
ソフトウェア工学	11月24日(金)	9:00～17:00	青学大(渋谷)	同 上

◆ 第 67 回 知識工学と人工知能研究会

(発表件数：6 件)

(主査：諏訪 基，幹事：中嶋秀之，西田豊明，原口 誠)

日 時 平成元年 11 月 8 日 (水) 9:45～15:15

会 場 機械振興会館 6 階 62 号室

(東京都港区芝公園 3-5-8，地下鉄：日比谷線神谷町，浅草線大門，三田線御成門下車，JR：浜松町下車，バス：
渋谷－東京タワー線東京タワー，渋谷－東京駅八重洲線虎ノ門 5 丁目下車。Tel. 03 (434) 8211)

— 9:45～12:00—

議 題

(1) 文字認識過程における競合学習

河合克敏，菅沼義昇 (名大)

(概要) ボトムアップとトップダウンを競合させることにより，同じ入力パターンに対しさまざまな構造を生成

できることを示す。

- (2) 誤差最小化 BAM によるパターン認識

林 幸雄 (富士ゼロックス)

〔概要〕 Bidirectional Associative Memory をパターン認識に適用するための改善策2点について述べる。

- (3) 事例とニューラルネットからの分類ルール抽出法

斉藤和巳, 中野良平 (NTT)

〔概要〕 多量の実例, または, ニューラルネットと少量の実例から分類ルールを抽出する方法と実験結果について報告する。

—13:00~15:15—

- (4) 離散時系列の暗記学習メカニズムと試験例題への応用

畠見達夫 (長岡技科大)

〔概要〕 比較的粒度の小さな離散時系列を入出力データとする一種の暗記学習メカニズムを, 簡単な応用例を通して解説する。

- (5) 古来, 法律制定者はナレッジエンジニアであった—AI は法律システムから何を学ぶか—

岡 夏樹 (ICOT)

〔概要〕 道徳的価値判断のエキスパートシステム化の成果が現社会の法律システムであると捉え, AI 研究への示唆を考える。

- (6) 記号の空間的表現について

田村 淳 (日電)

〔概要〕 記号間の意味的類似度に基づいた相互作用系により, 記号群を空間配置する概念空間生成方式を提案する。

※定員 24名

◆ 第8回 コンピュータと教育研究会

(発表件数: 3件)

(主査: 有山正孝, 幹事: 雨宮幸雄, 大槻説乎, 竹谷 誠)

日 時 平成元年 11 月 9 日 (木) 13:00~17:00

会 場 電気通信大学 図書館 AV ホール

〔調布市調布ヶ丘 1-5-1, JR: 新宿下車, 京王線: 調布下車, 徒歩 7 分. Tel. 0424 (83) 2161 内 2749〕

議 題

- (1) 2,000 年における情報技術者の需要予測について

大里有生 (横浜国大), 御牧 義 (電通大)

乾 侑 (長岡技科大)

〔概要〕 昭和 63 年から進めている文部省科研費総合研究 A「2,000 年における情報技術者の需要予測に関する研究」の中間報告を行う。

- (2) マイコンによる数学的モデル化教育試論

一松 信 (電機大)

〔概要〕 オランダの E グループの成果の紹介, 並びに今回改訂の高等学校数学科中コンピュータ関連の教材の案を論ずる。

- (3) 電子計算機演習の成績に影響を与える学生の諸因子について (教育データによる解析事例)

岡田幸子, 菅野文友 (東理大)

〔概要〕 大学におけるコンピュータの演習科目と数学系科目や語学系科目間の成績の関連性について, 解析した。

◆ 第27回 ヒューマンインタフェース研究会

(発表件数: 5件)

(主査: 木村 泉, 幹事: 角田博保, 黒須正明, 小橋史彦)

日 時 平成元年 11 月 9 日 (木) 13:30~17:00

会 場 機械振興会館 地下3階 2号室 (所在地は前記参照)

議 題 一般講演

- (1) 平均打鍵数による鍵盤ポイント方式の一設計法について

川端信賢 (長崎総合科学大)

〔概要〕 ポイント操作の頻度分布を参考にした, 階層的ポイント方式の設計法と設計例を示す。簡潔な評価法も示す。

小特集：ヒューマンインタフェース

- (2) 極限状態におけるヒューマンインタフェース 太田 茂 (富士通), 小山智史 (電通大)
 [概要] 目や耳・手の利用が不可能または制限された状況におけるヒューマンインタフェースのあり方について考察する。
- (3) 心身障害児教育におけるコンピュータインタフェースの課題 田村順一 (神奈川県教育委員会)
 [概要] 障害児教育にコンピュータを利用するにあたり, 必要なハードウェア・ソフトウェアのあり方を実践の元に提案する。
- (4) プッシュボタン—仮名文字変換方式とその応用 宮里 勉 (KDD)
 [概要] プッシュホンによる仮名文字入力と合成音声とを組合せた, 発生障害者会話補助と DB 検索への応用を述べる。
- (5) チュートリアル: UI 開発へのオブジェクト指向アプローチ 内藤広志 (キャノン)
 [概要] ユーザインタフェースをオブジェクト指向アプローチで開発する有用性や問題点をさまざまな観点から述べる。

◆ 第 45 回 オペレーティング・システム研究会

(発表件数: 11 件)

(主査: 亀田壽夫, 幹事: 川島幸之助, 村松 洋)

日 時 平成元年 11 月 10 日 (金) 13:00~17:00

11 月 11 日 (土) 9:30~16:15

会 場 宇都宮大学 工学部 情報工学科 視聴覚教室

[宇都宮市石井町 2753, JR: 宇都宮下車, 東口よりタクシーで約 15 分, または西口よりバスで約 30 分 (西口前バスターミナル③番より JR バスで「工学部前」下車, あるいは西口より徒歩 5 分の「宮の橋」バス停より JR バスで「工学部前」下車, または東野バス (東町行きを除く) で「シンガー日鋼入口」下車)。

Tel. 0286 (61) 3401]

11 月 10 日 (金)

議 題 特集: 並列・分散オペレーティングシステム

- (1) 分散オペレーティングシステム 清水謙多郎 (東大)
 [概要] 現在の代表的な分散オペレーティングシステムについて解説する。
- (2) 分散 OS ToM の構想 —その基本設計の概要—
 新井 潤, 桜川貴司, 立木秀樹, 萩野達也, 服部隆志 (京 大), 森島晃年 (京都高度技術研)
 [概要] メモリを抽象化した複数のモジュールとプロセッサを抽象化した複数のスレッドから構成され, マルチプロセッサやネットワークで結合された計算機を自然にモデル化できる新しい分散 OS 'ToM' の概要を説明する。
- (3) 分散 OS XERO におけるスレッドによるプログラム実行について
 猪原茂和, 加藤和彦, 益田隆司 (東大)
 [概要] XERO におけるスレッドの動的ロード機構と記憶管理, およびスレッド記述のための言語拡張について述べる。
- (4) 研究プロジェクト総説: 並列処理計算機 MUNAP の開発と応用
 馬場敬信 (宇都宮大), 山崎勝弘 (立命館大), 奥田健三 (宇都宮大)
 [概要] 2 レベルマイクロプログラム制御並列処理計算機 MUNAP に関する研究プロジェクトの生い立ちから始めて, 10 年に及ぶ研究経過を概観し, 成果を総括する。(発表終了後, MUNAP の見学会を予定している。)

11 月 11 日 (土)

—9:30~11:45—

- (5) 並列オブジェクト指向トータルアーキテクチャ A-NET のローカル OS
 吉永 努, 馬場敬信 (宇都宮大)
 [概要] 高並列処理を前提とした A-NET 計算機の各要素プロセッサに置かれる OS の処理について述べる。

(6) 可変構造型並列計算機のオペレーティング・システム

福澤祐二, 草野和寛, 恒富邦彦, 福田 晃, 村上和彰, 富田眞治 (九大)

〔概要〕 可変構造型並列計算機のオペレーティング・システムの開発方針とスケジューリング法について述べる。

(7) 定並列計算機における並列ループプログラムの割り当て 伊藤 勤, 曾和将容, 有田隆也 (名工大)

〔概要〕 プロセッサ稼動率の向上をめざす定並列計算機のための, ループ構成要素分割による割り当てアルゴリズムの提案を行う。

—13:00~16:15—

(8) 分散並列システムの構成とその実現方式

田胡和哉, 中山泰一 (東大)

〔概要〕 並列計算機, および, ワークステーションを含むネットワークを制御するためのオペレーティング・システムの設計, および, 実現技術の提案を行う。

(9) 分散型リアルタイムオペレーティングシステム; DIROS

谷口秀夫, 遠城秀和, 井村佳弘, 境 孝之 (NTT データ)

〔概要〕 マルチマイクロプロセッサ上で走行する DIROS について, その機能・構成及び特徴を報告する。

(10) 広域分散環境における RPC

尾上 淳 (慶大)

〔概要〕 広域分散環境における通信で重要な問題となる輻輳回避の機能を RPC に導入し, 汎用的な RPC を設計する。

(11) OS/omicron 第3版の設計と実現

岡野裕之, 横関 隆, 並木美太郎, 高橋延匡 (農工大)

〔概要〕 共有記憶型マルチプロセッサに, タスクフォース機構を持つ OS を実現した。OS の拡張・変更を容易にする工夫をした。

* 11月10日(金)発表会終了後, 懇親会を行います。参加希望者は, 11月2日(木)までに, 下記へご連絡ください。
宇都宮大学 工学部 情報工学科 馬場, 吉永 Tel. 0286 (61) 3401 FAX 0286 (63) 2014

◆ 第32回 ソフトウェア基礎論研究会

(発表件数: 5件)

(主査: 佐藤雅彦, 幹事: 柴山悦哉, 田中二郎, 萩野達也)

日 時 平成元年11月13日(月) 10:30~17:00

会 場 ATR インターナショナル 会議室 01

(京都府相楽郡精華町乾谷・三平谷, 近鉄: (京都線) 高の原下車, タクシーで約10分または奈良線学園前下車, タクシーで約15分。Tel. 07749 (5) 1239 (橋本))

議 題

(1) 制約指向の概念モデルを用いた高次部品化によるプログラム合成

岡本克彦, 橋本正明 (ATR)

〔概要〕 ER モデルと制約を用いた対象世界記述の部品化と, その再利用によるプログラム合成について述べる。

(2) 判断履歴の蓄積に基づく意思決定支援について

島 健一 (ATR)

〔概要〕 ソフトウェア設計過程における判断履歴を設計結果とともに蓄積し, 設計者の意思決定を支援する方法について論じる。

(3) 属性つき構文木上での部分木の置換に対応する属性評価の高速化

馮 安, 河野俊二, 菊野 亨, 鳥居宏次 (阪大)

〔概要〕 部分木の置換を許した属性つき構文木上での属性値の更新問題に対して, 高速なアルゴリズムの提案を行う。

(4) マルチタスクミックス OS のプロトタイプとその評価

神田陽治 (富士通)

〔概要〕 汎用並列マシン用の動的負荷分散処理法としてのマルチタスクミックス OS を, プロトタイプにより評価する。

(5) ブール代数の可解性について

坂井 公, 佐藤洋祐 (ICOT)

〔概要〕 任意のブール代数上の方程式が解を持つための必要十分条件を与える。これは、ブール制約を持つ制約論理プログラミングの処理系を考える上での重要な指針となる。

* 研究会にご出席予定の方は、事前に参加人数把握のため、Tel. 07749 (5) 1239 橋本あてご一報ください。

* 今回の研究会は電子情報通信学会（ソフトウェアサイエンス研究会）との共催で開催されます。上記会告は、9月8日現在の申し込みによるもので、プログラムは暫定的なものです。上記期日以降の申し込み分を含めた最終的なプログラムは電子情報通信学会誌 10月号に掲載されますのでご了承ください。

◆ 第63回 コンピュータビジョン研究会

(発表件数：8件)

(主査：鳥脇純一郎，幹事：大田友一，田島譲二)

日 時 平成元年 11月 16日 (木) 10:30~17:15

会 場 金沢大学 工学部 秀峯会館 1F 中会議室

〔金沢市小立野 2-40-20, JR 東日本：金沢下車，北陸鉄道バス (11 番：東部車庫，金沢女子大，金沢女子大付属高校，錦町行き，あるいは 16 番：駒帰行きにて約 30 分) 工学部前下車，徒歩 3 分。Tel. 0762 (61) 2101〕

—10:30~11:50—

議 題

(1) 地図中の家屋図形自動抽出における特徴量選択と図形品位について

堀 修，岡崎彰夫 (東芝)，大庭常良 (工学院大)

〔概要〕 地図中の家屋図形に対する効率的な認識方法と高品位自動図形ベクトル化方法を提案する。

(2) Active Net：動的な網のモデル

積山洋子 (三菱化成)，坂上勝彦，山本和彦 (電総研)

〔概要〕 エネルギー最小化原理を応用し，動的輪郭モデルから動的な網のモデルへの拡張を試みたので報告する。

—13:00~17:15—

(3) 膜の歪エネルギー最小によるステレオマッチング

服部 進 (福山大)，大谷 仁 (トプコン)

〔概要〕 立体画像のエッジの対応づけを行うのに，偏差間の内挿曲面が最小のポテンシャルを持つように決定した。

(4) Hough 変換を用いた対応点探索手法

浜野輝夫，岸本登美夫 (NTT)

〔概要〕 画像の濃度勾配に着目した密な平行線群の検出手法を提案し，これをステレオ計測の対応点探索問題に適用している。

(5) ステレオカメラのセルフキャリブレーション

高橋裕信 (三洋電機)，富田文明 (電総研)

〔概要〕 ステレオにおいて，テストパターンを用いずに自律的にカメラパラメータを推定する方法について述べる。

(6) 3次元的な動きの推定と形状変化の検出に基づく顔動画像のモデルベース符号化

小池 淳，金子正秀，羽鳥好律 (KDD)

〔概要〕 顔動画像のモデルベース符号化について，頭部の 3 次元的な運動と眼，口部分の形状変化の検出を中心に述べる。

(7) 人体計測システムにおける曲面フィッティングと形状操作

渡辺弥寿夫 (金沢工大)

〔概要〕 距離センサにより得た人体計測データをもとに，最適フィッティングや各種形状操作を行う手法について述べる。

(8) 空間曲線のためのフーリエ記述子

井宮 淳，堀 英昭 (金沢大)

〔概要〕 空間曲線を記述するためのフーリエ記述子を提案し，空間曲線の複雑さの解析に適用する。

* 研究会終了後，懇親会を行う予定です。

◆ 第74回 データベース・システム研究会

(発表件数：6件)

(主査：牧之内顕文，幹事：大里博志，清木 康，佐藤和洋)

日 時 平成元年 11月 17日 (金) 10:00~15:00

会 場 広島大学 理学部会議室

(広島市中区東千田町 1-1-89, JR: 広島下車, 市電 (①番のりば) 宇品行きまたは広電本社前行き: 広島大学前下車 (所要時間約 30 分). Tel. 082 (241) 1221 内 3805)

—10:00~12:00—

議 題

(1) 更新処理を考慮したリンク構造による物理スキーマ設計

木實新一, 古川哲也, 上林弥彦 (九大)

〔概要〕 データベースの物理スキーマを, 処理効率の良いリンク構造を用い, 更新を考慮して設計する方法について述べる.

(2) 統計データベースのある最適設計手法について

小林康幸 (島根大)

〔概要〕 与えられた統計表を全て導出できる, レコード数最小のベ-スリレーションを設計する方法について述べる.

(3) 地図データベースの検索高速化のためのファイルインデックス方式

田中章司郎, 池田秀人 (広大)

〔概要〕 複雑な図形に対する quadtree の検索速度の欠点を克服するための, ファイルインデックス方式を提案する.

—13:00~15:00—

(4) アクティブな電子百科事典の試作

中埜善夫, 谷川英和 (松下電器)

〔概要〕 音声, 音響, 動画などのアクティブなデータをオブジェクト指向的に管理する電子百科事典について述べる.

(5) 鳥類図鑑 Hyperbook システムにおける対話型検索について

藤沢正幸, 上野正俊, 小島健一, 田部井 保, 根岸 晃, 矢川雄一, 田淵仁浩, 村岡洋一 (早大)

〔概要〕 鳥類図鑑 Hyperbook におけるシステムと利用者の対話を前提とした検索について述べる.

(6) ACM-SIGMOD '89 国際会議報告

清木 康 (筑波大), 田中克己 (神戸大)

〔概要〕 1989 年 6 月に行われた SIGMOD '89 国際会議の概要を報告する.

◆ 第 12 回 アルゴリズム研究会

(発表件数: 38 件)

(主査: 野崎昭弘, 幹事: 今井 浩, 中村勝洋, 西関隆夫)

日 時 平成元年 11 月 20 日 (月) 9:15~17:30

11 月 21 日 (火) 8:50~17:45

11 月 22 日 (水) 8:50~16:45

会 場 福岡リーセントホテル

(福岡市東区箱崎 2-52-1, JR: 博多下車, 地下鉄: 中洲川端乗り換え 箱崎宮前下車, 徒歩 3 分, 国道 3 号線ぞい, 東区役所横. Tel. 092 (641) 7741

11 月 20 日 (月)

—9:15~12:15—

議 題 特集: International Workshop on Discrete Algorithms and Complexity

(1) Shortest Rectilinear Path among Rectangles

C. D. Yang, T. H. Chen and D. T. Lee (Northwestern Univ., USA)

〔概要〕 通過時のコストが所与の長方形障害物のある平面において, 2 点間の L_1 距離最短路を求める算法を与える.

(2) Complexity Issues in Drawing Directed Graphs

P. Eades (Univ. Queensland, Australia)

〔概要〕 有向グラフを人間の理解しやすいように平面描画する問題の計算複雑度について述べる.

(3) The Generalized Divide-and-Conquer Strategy and Its Application to Some Euclidean NP-Hard Problems

R. Z. Hwang (National Tsing Hua Univ., Taiwan, China)

R. C. Chang (National Chiao Tung Univ., Taiwan, China)

and R. C. T. Lee (National Tsing Hua Univ., Taiwan, China)

〔概要〕 NP 困難な問題に対する一般化された分割統治法を与え、その幾何的 ρ メディアン、巡回商人問題への応用を示す。

(4) Vertex Classification Using the Convex Hull on a Sphere

M. J. Dürst and T. L. Kunii (Univ. Tokyo, Japan)

〔概要〕 凸包の概念を球面上に拡張し、多面体の点包含判定問題、多面体の CSG 的表現に関する応用を示す。

(5) Robust Computation of Polygon Nesting C. L. Bajaj and T. K. Dey (Purdue Univ., USA)

〔概要〕 計算誤差に影響されないで複数個の多角形間のネスト構造を計算するアルゴリズムを与える。

—13 : 45~17 : 30—

(6) Bipartition of Biconnected Graphs

H. Suzuki, N. Takahashi and T. Nishizeki (Tohoku Univ., Japan)

〔概要〕 2 連結グラフを、各々指定された点を含みかつ指定された点数よりなる二つの連結グラフに分割する線形時間算法を与える。

(7) Minimum Delay Networks

J. -M. Ho (Academia Sinica, Taiwan, China) and D. T. Lee (Northwestern Univ., USA)

〔概要〕 グラフにおいて、二つの点集合間の最大距離を最小にするスタイナ木を求める問題などに対して多項式時間算法を与える。

(8) 2-Edge-Connectivity Augmentation Problems for Directed Graphs

M. Takahashi and T. Watanabe (Hiroshima Univ., Japan)

〔概要〕 与えられた有向グラフを最小本数の枝を付加して 2 辺連結にする問題に対して、多項式時間アルゴリズムを与える。

(9) Algorithms for Weak and Wide Separation of Sets

M. E. Houle (Kyushu Univ. Japan, and McGill Univ., Canada)

〔概要〕 二つの点集合の最適な線形分離法、および線形分離できないときの良い近似分離法を求めるアルゴリズムを示す。

(10) Voronoi Trees and Applications

H. Noltmeier (Univ., Würzburg, FRG)

〔概要〕 種々の距離に関する近さの度合を表す Voronoi 木というデータ構造を示し、その応用を与える。

(11) A Linear Time Algorithm for the Weighted Rectilinear Two-Center Problem

M. T. Ko (Academia Sinica, Taiwan, China)

and Y. T. Ching (National Chiao Tung Univ., Taiwan, China)

〔概要〕 重みつき L_∞ 距離に関する 2-センタ問題を考え、それに対して線形時間アルゴリズムを与える。

(12) Some Results on Three-Dimensional Triangulations

H. Edelsbrunner (Univ. Illinois at Urbana-Champaign, USA)

〔概要〕 3次元単体分割に関するアルゴリズムを与える。

11月21日(火)

— 8 : 50~12 : 35—

(13) An Optimal Algorithm for Finding All the Cliques

E. Tomita, A. Tanaka and H. Takahashi (Univ. Electro-Communications, Japan)

〔概要〕 n 点の無向グラフのすべてのクリークを $O(3^{n/3})$ の手間で求めるアルゴリズムを与える。

(14) κ -Neighborhood Covering and Independence Problems

S. -F. Hwang and G. J. Chang (National Chiao Tung Univ., Taiwan, China)

〔概要〕 グラフのカバーと独立の概念を点間の距離 κ を用いて拡張したものを考え、最小カバー、最大独立点集合問題について述べる。

(15) On the Minimum Cost Subgraph Problem S. Masuyama (Toyohashi Univ. Technology, Japan)

〔概要〕 グラフ G_0 に同型な G の最小コストの部分グラフを求める問題について、 G, G_0 が木の場合を中心に述べる。

(16) Circular Permutation Family of Graphs

R. D. Lou and M. Sarrafzadeh (Northwestern Univ., USA)

〔概要〕 置換グラフの環状版のグラフのクラスを導入し、その認識問題、最大独立点集合問題、最大クリーク問題に対する算法を与える。

(17) Error-Free Image Compression with Gray Scale Quadrees and Its Optimization

M. J. Dürst and T. L. Kunii (Univ. Tokyo, Japan)

〔概要〕 4分木とグレー・スケールの階層構造分解を組み合わせて、グレー・スケール画像の誤りのない圧縮法を提案する。

(18) Monotone Polygon Containment Decision Problems under Translation

J.-S. Chiu and J.-S. Wang (National Tsing Hua Univ., Taiwan, China)

〔概要〕 二つの多角形の包含判定問題について、一方が単調な場合などに対してアルゴリズムを与える。

(19) Optimal Parallel Algorithms for Triangulating Certain Classes of Polygons

H. ElGindy (McGill Univ., Canada)

〔概要〕 あるクラスの n 点の多角形を、 $O(n/\log n)$ プロセッサ、 $O(\log n)$ 時間で3角形分割する並列算法を与える。

—14 : 00~17 : 45—

(20) Pairwise Relatively Prime Generating Polynomials and Their Applications

C. C. Chang (National Chung Hsing Univ., Taiwan, China)

and J. C. Shieh (National Taiwan Univ., Taiwan, China)

〔概要〕 n 個の自然数に対して互いに素な数を与える多項式を求めるアルゴリズムと、その応用を示す。

(21) Discrete Convolution with Modulo Operations

R. Ferré (Lund Univ., Sweden)

〔概要〕 剰余演算に基づいた離散および高速フーリエ変換法について述べる。

(22) A Single Key User Hierarchic Representation Mechanism

C. C. Chang and C. H. Chang (National Chung Hsing Univ., Taiwan, China)

〔概要〕 各利用者が ID 番号とただ一つの鍵をもつという条件のもとで利用者階層を実現する方法を与える。

(23) Recent Results in Combinatorial Optimization

H. W. Leong (National Univ. Singapore, Singapore)

〔概要〕 古典的な問題、VLSI 設計に関連した問題を中心に、最近の組合せ最適化問題に関する研究の動向について述べる。

(24) Matching Parentheses in Parallel

C. Levcopoulos and O. Petersson (Lund Univ., Sweden)

〔概要〕 n 個の括弧のマッチングを、最適な $O(\log n)$ 時間、 $O(n/\log n)$ スペースで行う並列アルゴリズムを与える。

(25) A Fast Algorithm for Computing Longest Common Subsequences of Small Alphabet Size

F. Chin and C. K. Poon (Univ. Hong Kong, Hong Kong)

〔概要〕 最長共通部分列を求める問題に関して、文字セットの大きさが小さい時に特に有効なアルゴリズムを与える。

(26) Optimal Parallel Algorithms for Transitive Closure and Point Location in Planar Structures

J. S. Vitter (Brown Univ., USA)

〔概要〕 平面 st-グラフの推移的閉包を非明示的に表現する構造を求める並列算法を与え、その点位置決定問題への応用を示す。

11月22日(水)

— 8 : 50~12 : 35—

(27) Closure Properties of Alternating One-Way Multihead Finite Automata with Constant Leaf-Sizes

H. Matsuno (Oshima National College of Maritime Technology, Japan)

K. Inoue and I. Takanami (Yamaguchi Univ., Japan)

〔概要〕 定数リーフサイズをもつ1方向オルタネーティングマルチヘッド有限オートマトンの閉包性について述べる。

(28) A New Series of $\mathcal{L}^2_2$ -Complete Problems S. Miyano (Kyushu Univ., Japan)

〔概要〕 あるグラフの性質 π を満たす辞書式順序極大連結部分グラフを求める問題が、 $\mathcal{L}^2_2$ 完全であることを示す。

(29) Alternating Turing Machines with Modified Accepting Structure

K. Inoue, A. Ito and I. Takanami (Yamaguchi Univ., Japan)

〔概要〕 変更された受理構造を有するオルタネーティング・チューリング機械について述べる。

(30) On the Dynamic Shortest Path Problem

C. C. Lin and R. -C. Chang (National Chiao Tung Univ., Taiwan, China)

〔概要〕 枝の挿入と2点間の最小枝数パスを求めることを、オンラインで行うアルゴリズムを与える。

(31) Grain Size Determination for Parallel Programs with Tree-Structures

T. Kawaguchi (Univ. Ryukyus, Japan)

〔概要〕 木構造の並列プログラムでの粒度決定に関する最適化問題について述べる。

(32) A Parallel Algorithm on the Image Reconstruction

A. Janicki (Institute of Mathematical Machines, Poland)

〔概要〕 線形代数の一手法に基づいた画像再構成用の並列処理アルゴリズムを与える。

(33) Optimum Resource Sharing in Pipeline Synthesis

K. Yokoyama, S. Wakabayashi, J. Miyao and N. Yoshida (Hiroshima Univ., Japan)

〔概要〕 デジタルシステムの VLSI チップへの構成法、特にパイプライン設計法について述べる。

—14 : 00~16 : 45—

(34) Deductive Data Base Support with NICEMP; Definition of an Access Schema Manager in a Persistent Object Environment

N. Le Thanh, M. Collard, G. Bonfils, F. Labene and S. Miranda (Univ. Nice, France)

〔概要〕 発表者らが構築中の NICEMP システムでのアクセススキーマ管理について述べる。

(35) Multiversion Cautious Schedulers with Dynamic Serialization Constraints

N. Katoh (Kobe Univ. Commerce, Japan), T. Ibaraki (Kyoto Univ., Japan)

and T. Kameda (Simon Fraser Univ., Canada)

〔概要〕 動的な並列処理制約のもとでもすくみを生じない多版先読みスケジューラを提案する。

(36) A Dynamic Access Control Mechanism in Information Protection Systems

C. H. Lin (National Tsing Hua Univ., Taiwan, China)

C. C. Chang (National Chung Hsing Univ., Taiwan, China)

and R. C. T. Lee (National Tsing Hua Univ., Taiwan, China)

〔概要〕 情報セキュリティシステムで単一施設でアクセス制御を動的に行う方式を提案する。

(37) The On-Line Algorithm for the Serializability Preservation of the Distributed Data-Base-System with Broad-Cast Communication

J. Okui (Nagoya Institute of Technology, Japan), M. Fujii and M. Kataoka (Osaka Univ., Japan)

〔概要〕 分散データベースの一貫性保持のためのオンラインスケジューラを提案する。

(38) Processing Set Constraint Queries Utilizing Data Dependencies

M. Iwaihara and Y. Kambayashi (Kyushu Univ., Japan)

〔概要〕 集合制約質問は、解として集合を求める。質問の計算複雑度、および意味制約を利用した処理法を検討する。

* 今回の研究会は、情報処理学会九州支部、電子情報通信学会（コンピューターション研究会）との共催で開催されます。発表はすべて英語で行います。なお、11月20日（月）に懇親会を同ホテルにて行いますので、奮ってご参加ください。

◆ 第 71 回 計算機アーキテクチャ研究会

(発表件数：16件)

(主査：田中英彦，幹事：後藤厚宏，長谷川隆三，横田 実)

日 時 平成元年 11 月 20 日 (月) 13：30～18：30

11 月 21 日 (火) 9：00～16：30

会 場 神戸ポートピア神戸国際会議場 505 号室

〔神戸市中央区港島中町 6-9-1，新幹線新神戸から車，または地下鉄とポートライナで約 15 分。三ノ宮 (JR，阪神，阪急) から，車，またはポートライナ (市民広場駅下車) で約 10 分。Tel. 078 (302) 5200〕

11 月 20 日 (月)

議 題

- (1) マルチプロセッサ上の同期機構とプロセッサスケジューリングに関する考察

松本 尚 (日本IBM)

〔概要〕 オーバヘッドとプロセッサの浪費を抑える同期方式とプロセッサのスケジューリング法について述べる。

- (2) マルチプロセッサシステム “砂丘” の共有メモリ・アーキテクチャについて

井上倫夫，小林康浩，井上正人 (鳥取大)

〔概要〕 マルチプロセッサシステムでの大容量共有メモリへの複数アクセスパスの利用とその評価について述べる。

- (3) 可変構造型並列計算機のキャッシュ・システム

岩田英次，森眞一郎，村上和彰，福田 晃，富田眞治 (九大)

〔概要〕 可変構造型並列計算機のキャッシュ・メモリの構成およびキャッシュ・コヒーレンス処理について論じる。

- (4) 並列推論マシン PIE 64 の推論ユニット間通信

清水 剛，小池汎平，田中英彦 (東大)

〔概要〕 並列推論マシン PIE 64 の推論ユニット間の相互結合網を介した通信のプロトコル・性能などを述べる。

- (5) 推論プロセッサ UNIREN II の命令セット

島田健太郎，下山 健，清水 剛，小池汎平，田中英彦 (東大)

〔概要〕 並列推論マシン PIE 64 の要素プロセッサ UNIREN II について，推論処理用の命令セットを説明する。

- (6) SIMP (単一命令流／多重命令パイプライン) 方式に基づくスカラ・プロセッサ「新風」のための静的コードスケジューリング技法

入江直彦，久我守弘，村上和彰，富田眞治 (九大)

〔概要〕 「新風」に適用する静的コードスケジューリング技法について，VLIW 方式のそれと比較しながら論じる。

- (7) 共有メモリ結合マルチプロセッサにおける KL1 向き並列実行 GC 方式の評価

今井 明，中島克人，後藤厚宏 (ICOT)，宮崎芳枝 (富士通 SSL)

〔概要〕 共有メモリ結合マルチプロセッサにおける並列実行 GC 方式を VPIM エミュレータ上で評価した結果を報告する。

11 月 21 日 (火)

— 9：00～11：50—

- (8) 並列計算機 ADENA に対する最適化コンパイルの一手法

若谷彰良 (松下電器)

〔概要〕 並列計算機 ADENA における最適化コンパイル，特に差分式評価の演算および転送の効率化に対する手法を述べる。

- (9) 反復法を対象とする並列プログラムの再構成システム

木村哲郎，朴 泰佑，天野英晴 (慶大)

〔概要〕 反復法を対象とした並列プログラムを再構成し，効率低下を招くプロセスの小粒度化を防ぐシステムを提案する。

- (10) 疎結合マルチプロセッサ上での OR 並列問題に適した動的負荷分散方式とその評価

古市昌一 (三菱電機)，市吉伸行，瀧 和男 (ICOT)

〔概要〕 OR 並列問題に適した動的負荷分散方式を提案し、マルチ PSI/V2 上で評価した結果について述べる。

(11) 疎結合マルチプロセッサ上の最短経路問題の実現と評価 和田久美子 (沖電気), 市吉伸行 (ICOT)

〔概要〕 最短経路問題の分散アルゴリズムと負荷分散方式を提案し、マルチ PSI/V2 上で評価した結果について述べる。

—12:50~16:30—

(12) 並列マシン Cenju

松下 智 (日電)

〔概要〕 CAD 向け並列マシン Cenju のアーキテクチャ、OS、プログラミング環境について思想と構成を示す。

(13) シグナルプロセッサアレイ—SPA—

小畑正貴 (岡山理大)

〔概要〕 浮動小数点 DSP を用いた並列処理システムのハードウェア構成と画像処理への応用について

(14) リング結合型並列計算機のシステムアーキテクチャ

中條拓伯 (神戸大)

〔概要〕 複数 PE をリング上に専用ハードウェアにより結合したリング結合型並列計算機のシステムアーキテクチャと応用。

(15) 手続きフロー型並列計算機の制御機構と並列記述言語

富澤真樹 (農工大)

〔概要〕 多重の制御フローを許すコントロールパラレル型並列計算機の制御機構と金物および言語系について論じる。

(16) 並列処理計算機 MDFM のアーキテクチャ

寺田秀文 (静岡大)

〔概要〕 データフローモデルを基礎とした並列処理計算機 MDFM の基本構成などから、その構想について述べる。

* 今回の研究会は電子情報通信学会 (コンピュータシステム研究会) との共催で開催されます。

* IEEE Computer Society Tokyo Chapter 協賛

◆ 第 55 回 記号処理研究会

(発表件数: 5 件)

(主査: 中西正和, 幹事: 小谷善行, 多田好克)

日 時 平成元年 11 月 22 日 (水) 13:00~17:00

会 場 富山県立技術短期大学 (特別会議室)

〔富山県射水郡小杉町黒河, JR: 小杉 (北陸本線) より, ①南口より徒歩 20 分, ②南口のバス停から「野手」行き, または, 「太閤山ランド」行きに乗り「技術短大前」で下車 (所用時間 3 分, ただし, バスは 1 時間に 1 本程度), ③駅正面に出てタクシーを利用。または, ④北陸自動車道「小杉インターチェンジ」より 10 分。

Tel. 0766 (56) 2495 内 402 松永

議 題

(1) 引数をもたない論理プログラム表現

小谷善行 (農工大)

〔概要〕 論理型言語の仕様設計のために, 自然言語に近い引数 (変数) のない論理表現を数種提起し, 比較・検討する。

(2) マウスインタフェースのための付加機構について

古坂孝史, 井田昌之 (青学大)

〔概要〕 Lisp ウィンドウシステムでのマウスの扱い, その実現のためのイベント割り込み処理の機能の付加について, この機構と実現例を述べる。

(3) UtiLisp/C のインタプリタ

田中哲朗 (東大)

〔概要〕 Sun-4, Sparc 上の UtiLisp 処理系 (UtiLisp/C) のインタプリタ部分の概要と, 高速化のためのテクニックを述べる。

(4) UtiLisp/C の bignum ルーチン

和田英一 (東大)

〔概要〕 C 言語で書いた Sun-4 用 UtiLisp/C のインタプリタの bignum 演算を Sparc のアセンブリ言語で書いてみた。そこで使ったテクニックと Sparc の命令セットに対する感想を述べる。

(5) UtiLisp/C のコンパイラ

村松正和 (東大)

〔概要〕 Sun-4 用 UtiLisp/C インタプリタは C で書かれているので, コンパイラも Lisp 関数を一旦 C に変換する方式を取った。その手法, また, これに用いた各種最適化の技法について述べる。

◆ 第 69 回 ソフトウェア工学研究会

(発表件数: 8 件)

(主査: 原田賢一, 幹事: 宇都宮公訓, 大槻 繁, 永田守男)

日 時 平成元年 11 月 24 日 (金) 9:00~17:00

会 場 青山学院大学 総研ビル 12 階

(東京都渋谷区渋谷 4-4-25, 地下鉄: 銀座線, 千代田線, 半蔵門線表参道下車, 徒歩 5 分, JR: 渋谷下車, 徒歩 10 分, 青山キャンパス正門脇, Tel. 03 (409) 8111)

— 9:00~12:30—

議 題 特集: 知的ソフトウェア開発

(1) 仕様記述過程モデル化のための実験と分析 古宮誠一, 他 (IPA)

〔概要〕 人間がソフトウェアを仕様化し設計する過程を明らかにするために実験を行った. その分析結果を報告する.

(2) 仕様獲得実験システム 土田賢治, 阪田全弘 (日電), 松沢 忠, 鈴木宏文, 町田和浩 (NSIS)

〔概要〕 専門家システムのユーザインタフェースを対象とし, 例からの仕様獲得を行う実験システムについて説明する.

(3) INTELLITUTOR: プログラム理解能力をもつ知的プログラミング環境

上野晴樹, 村山 浩 (電機大), 中島慶人 (電力中研)

〔概要〕 INTELLITUTOR の設計思想, システム構成およびプログラム理解の機構と実行例について述べる.

(4) 先進型上流工程支援ツール VIP 久保哲也 (IPA)

〔概要〕 日本語で与えられた対象業務内容を解析し, 業務フロー図やアニメーションを自動生成する.

—13:30~17:00—

(5) ソフトウェア設計のための判断履歴の蓄積, 利用について 島 健一 (ATR)

〔概要〕 設計過程 (概要設計) での意思決定の知的な支援を行うため, 判断履歴の蓄積, 追跡法について論じる.

(6) プログラムのデバッグに対する知的支援システム 山田宏之, 相原恒博 (愛媛大)

〔概要〕 初心者が作成したプログラムに含まれるバグを検出する知的支援システムの構成について述べる.

(7) 階層的ペトリネットによる並行プログラムの設計法 内平直志, 伊藤美香子, 本位田真一 (東芝)

〔概要〕 ペトリネットに基づく並行プログラミング言語 MENDEL/89 を用いた設計法を「リフト」の例を用いて示す.

(8) 知識ベースアプローチによる数値解析プログラムの開発 中井正一 (清水建設)

〔概要〕 本研究は, さまざまなノウハウを要する数値解析プログラムの作成に知識ベースアプローチを適用し, 開発の効率化を目指すものである.

* 今回の研究会は人工知能学会 (知識ベースシステム研究会) との共催で行われます.

◆ 第 1 回 音楽情報処理研究グループ

(発表件数: 4 件)

(主査: 平田圭二, 幹事: 鈴木 孝, 増井誠生, 志村 哲)

日 時 平成元年 12 月 2 日 (土) 13:30~17:00

会 場 大阪大学 シグマホール (豊中キャンパス)

(豊中市待兼山町 1-1, 阪急 (宝塚線): 石橋下車, 徒歩 15 分, Tel. 06 (844) 1151)

議 題

(1) 国際会議報告 平田圭二 (NTT), 片寄晴弘 (阪大)

〔概要〕 International Conference on Music Perception and Cognition および International Computer Music Conference の報告を行う.

(2) 音楽・音声における“間(ま)”について 中村敏枝 (阪大)

〔概要〕 音楽や音声の聴取における“間”について心理学的実験を行った結果を報告する.

(3) 尺八の演奏技法研究における情報処理 志村 哲 (大阪芸大)

〔概要〕 尺八楽における、様式の比較研究のための演奏技法の分類法および、データベース化の諸問題について述べる。

(4) 尺八の音響解析, その1 今井重章, 片寄晴弘, 井口征士 (阪大), 志村 哲 (大阪芸大)

〔概要〕 指使いと尺八の種類によって、音色がどのように変化するかを、実例を示しながら考察する。

◆ 情報学基礎研究会

第16回 研究会を下記の要領で開催いたしますので奮ってご参加ください。

開催日 平成元年12月7日(木)

会場 機械振興会館 地下3階 1号室

特集 非文字データベースに取り組む

昨今、非文字データベースの重要性、将来性が着目されている。たとえば、分子設計化学データベース、人文系のデータベース、デザイン・パターンデータベース、図形データベースなどがある。これらの非文字データベースの作成に際しては、その入力(手書き文字認識、図形認識、他)、貯蔵、アクセス、表現、出力方法などについて、いろいろな問題を解決しなければならない。また、このようなデータベースにおける非文字情報のパターンマッチングについても興味ある問題がある。そこで、今回の情報学基礎研究会では、非文字データベースにまつわる諸状況を整理し、将来の課題を議論する場としたい。

詳細なプログラムと会場については次号(11月号)でご案内いたします。

◆ ソフトウェア工学研究会

第70回 の研究会を下記のとおり開催いたします。

開催日 平成2年2月8日(金)・9日(土)

会場 徳島大学

発表をご希望の方は、11月30日(木)までに研究会発表申込書に発表題目と50字以内の概要を記入のうえ、学会事務局研究会担当までお申し込みください。今回は合宿形式として充実したディスカッションを行いたいと思います。

◆ 計算機アーキテクチャ研究会

第72回 研究会を下記のとおり開催いたします。今回は合宿形式として充実したディスカッションを行いたいと思います。

なお、宿泊などを含めた詳細は次号(11月号)に掲載します。奮ってご応募ください。

発表をご希望の方は、10月末日までに研究会発表申込書に発表題目と50字以内の概要を記入のうえ、学会事務局研究会担当までお申し込みください。

開催日 平成2年1月25日(木)・26日(金)

会場 芦原温泉 芦原荘(福井県)

議題 特集: メモリシステム・アーキテクチャ

◆ アルゴリズム研究会

第13回、第14回の研究会の日程・開催場所を下記のように変更いたします。発表ご希望の方は、研究会発表申込書に発表題目と50字以内の概要を記入して、学会事務局研究会担当までお申し込みください。

第13回 平成2年1月31日(水) CSK 情報教育センター(多摩)

第14回 平成2年3月12日(月) 三菱電機情報電子研(五反田)

学術奨励賞候補の推薦について

全国大会で優秀な論文を発表した会員の中から、大学学部卒業後 10 年未満（またはこれと同等）の若手の科学者・技術者約 10 名を選び、学術奨励賞を贈呈し表彰いたしております。

つきましては、来る 10 月 16 日～18 日に九州工業大学（北九州市戸畑区）で開催される第 39 回全国大会での登壇発表者の中から、下記により受賞候補者 1 名をご推薦くださいますようお願いいたします。

また、第 39 回全国大会参加者には会場に推薦用紙を用意してありますので、会場でご推薦くださるようお願いいたします。

なお、受賞者の選定は学術奨励賞委員会（委員長 戸田副会長）で行い、その発表と表彰は来年 3 月に開催の第 40 回全国大会（早稲田大学）時に行われる予定です。

記

選定範囲および推薦数

第 39 回全国大会で発表された優秀な論文の登壇発表者 1 名

推薦資格 本学会正会員に限る。

推薦方法 官製はがきに、推薦する論文の ①講演番号 ②題目 ③登壇発表者名 ④所属 ⑤出身校（学部）卒年 ⑥推薦理由および推薦者の氏名、所属、住所をもれなくご記入のうえ、本会学術奨励賞係あてお送りください。

推薦締切 平成元年 10 月 31 日（当日消印有効）

表 彰 規 程（抜 粋）

第 5 章 学 術 奨 励 賞

第 19 条 学術奨励賞は、情報処理に関する学問、技術の奨励のため、有為と認められる新進の科学者または技術者に贈呈する。

第 20 条 学術奨励賞を受ける者は、全国大会において優秀な論文を発表した者で、つぎの各号に該当する者から選定する。

- イ 選定の時期において本会会員であること（選定の時期とは、第 1 回の委員会開催時とする。）
- ロ 講演の時期において大学の学部卒業後 10 年未満の者またはこれと同等と認められる者であること。
- ハ 大会参加申込の際講演者として登録かつ講演を行った者であること。
- ニ 本奨励賞を受けたことのないものであること。

第 21 条 第 20 条の選定は、全国大会終了後速やかに行う。

第 22 条 学術奨励賞は、毎回約 10 名ずつ選定し、贈呈する。

第 23 条 学術奨励賞は、賞状、賞牌および賞金とする。

- 2. 賞金は、1 名につき 20,000 円とする。

「学習のパラダイムとその応用シンポジウム」開催について

標記のシンポジウムを企画したところ多数の申し込みがあり、審査の結果、下記のようにプログラムを決定しましたのでお知らせいたします。記号処理、ニューラルネット、エキスパートシステム、認知科学等における学習の考察を通じてドメインを超えた学習のパラダイムに向けて迫りたいと考えています。奮ってご参加ください。

日 時 平成元年 11 月 6 日 (月), 7 日 (火) 9:00~17:00

場 所 機械振興会館 (東京タワー隣) 大ホール (地下 2 階)

協 賛 人工知能学会

参 加 費 正会員 (情報処理学会または人工知能学会) 10,000 円, 非会員 15,000 円, 学生会員 1,500 円
(論文集のみ 3,000 円, 送料 400 円)

申込締切 10 月 20 日 (金) (定員 150 名に達し次第締め切らせていただきます。)

申 込 先 106 東京都港区麻布台 2-4-2 保科ビル (社)情報処理学会シンポジウム係

~~~~~プ ロ グ ラ ム~~~~~

第 1 日 (11 月 6 日 (月))

シンポジウム実行委員長挨拶 (9:00~9:10)

諏訪 基 (電総研)

Session 1 ニューラルネット (9:10~10:55)

座長 元田 浩 (日立)

- ニューラルネットワークを用いた陰喩理解

土井 晃一, 佐川 浩彦, 田中 英彦 (東大)

- Adaptive Junction の学習メカニズム

味岡 義明 (慶大), 石川 正俊 (東大), 赤松 幹之 (製科研), 安西祐一郎 (慶大)

- 構造のある概念を対象とするコネクショニスト帰納学習

生天目 章 (防衛大)

Session 2 特別講演 (11:10~12:10)

司会 諏訪 基 (電総研)

- 神経回路網における学習のパラダイム

甘利 俊一 (東大)

Session 3 学習の諸手法 (1:30~3:50)

座長 原口 誠 (東工大)

- 概念間の差異による学習と文字認識への応用

菅沼 義昇, 河合 克敏 (名大)

- Understanding Metaphors by Frustration-Based Learning Method

諏訪 正樹, 元田 浩 (日立)

- 問題解決と EBL による概念関係・概念記述の学習

山田 誠二, 辻 三郎 (阪大)

- Memory-Based アプローチと規則学習

佐藤 理史 (京大)

Session 4 サーベイ (4:00~5:00)

司会 中島 秀之 (電総研)

- 学習研究の分類学

畠見 達夫 (長岡技大)

第 2 日 (11 月 7 日 (火))

Session 5 学習の要素技術 (9:00~10:45)

座長 石塚 満 (東大)

- 発想支援システム “知恵の泉” における類推機構の概要

折原 良平, 高柳 孝司, 長尾加寿恵, 菅野成一郎 (東芝)

- 均質性に基づく論理体系の構築

島田 陽一, 堂下 修司 (京大)

- SOAR の学習過程への多重文脈の導入

奥乃 博 (NTT)

Session 6 招待講演 (11:00~12:00)

司会 畠見 達夫 (長岡技大)

- 学習における推論の理論

原口 誠 (東工大)

Session 7 招待講演 (1:15~2:15)

司会 中島 秀之 (電総研)

- 認知科学から見た学習

福田 健 (東大)

Session 8 パネル討論「学習のパラダイムとその応用」(2:30~5:00)

司会 堂下 修司 (京大)

パネリストとテーマ

石川 真澄 (電総研)

学習とニューラルネット

(テーマは仮)	佐藤理史 (京大)	学習と基本メカニズム
	往住彰文 (聖心女子大)	学習と認知科学
	戸沢義夫 (日本 IBM)	学習と応用システム
	溝口理一郎 (阪大)	学習と知識獲得

「学習のパラダイムとその応用」シンポジウム

参 加 申 込 書

平成元年 月 日

申込者 氏名 _____

(一方を○で囲む)

加入学会 { 情報処理学会
 人工知能学会 会員 No. _____

連絡先 (住所, 会社名, 所属) 〒 _____ Tel. _____

標記シンポジウムの参加を下記によって申し込みます.

○参 加 費 (該当するものを○印でかこむ)

正会員, 賛助会員 10,000 円 非会員 15,000 円 学生会員 1,500 円

○論 文 集 の み (3,000 円, 送料 400 円) 冊

○送 金 方 法

_____円を _____月 _____日送金します (金額, 送金月日を記入のうえ該当する送金方法を○印でかこむ)

a. 現金書留 (送金先 〒106 東京都港区麻布台 2-4-2 保科ビル (社)情報処理学会 シンポジウム係)

b. 銀行振込 (いずれも普通預金口座)

第一勧銀虎ノ門支店 1013945	富士銀行虎ノ門支店 993632
三菱銀行虎ノ門公務部 0000608	三井銀行本店 4298739
住友銀行東京公務部 10899	三和銀行東京公務部 21409
名義人 東京都港区麻布台 2-4-2 社団法人 情報処理学会	

請求書類の必要な方はお申出ください.

(No. _____)

請求書 通, 見積書 通, 納品書 通
請求先 _____

注) 申込書は1枚1人としてください (この用紙のコピーで可).

「マルチメディア情報と分散協調シンポジウム」開催について

標記シンポジウムを下記要領で開催することいたしましたので、多数の方々のご参加をお願いします。

記

日 時 平成元年 11 月 16 日 (木) 9:00~17:00
場 所 機械振興会館大ホール (地下 2 階)
参 加 費 会員 6,000 円, 非会員 9,000 円, 学生 1,000 円 (論文集のみ 3,000 円, 送料 400 円)
申込締切 平成元年 11 月 2 日 (木) (定員 150 名になり次第, 締切ります)

—— プ ロ グ ラ ム ——

招待講演 (9:00~9:40)

- 21 世紀へ向けての情報環境 相磯 秀夫 (慶大)

基調講演 (9:40~10:20)

- 知的 OA 実現のために 松下 温 (慶大)

セッション 1 アカデミック・ネットワーク (10:20~11:20) 司会 松方 純 (国文学研究資料館)

- 学術情報ネットワークの現状と構想 飯田 記子, 浅野正一郎 (学術情報センター)
- JUNET の国際電子メール通信 村井 純 (東大), 松方 純 (国文学研究資料館), 浅見 徹 (KDD)

—— 休憩 (11:20~13:00) ——

セッション 2 グループウェア (13:00~14:40)

- Group Decision Support System 司会 柳生 和男 (日立)
- コンピュータを用いた人間の共同作業支援技術について 倉谷 好郎 (東京国際大)
- マルチメディア分散在席会議システム MERMAID 石井 裕, 大久保雅且 (NTT)
- 東 浩, 中島 次男 (日本電気技術情報システム開発)

—— 休憩 (14:40~15:00) ——

セッション 3 分散協調と知識情報処理 (15:00~16:00)

- マルチ・エージェント・システム CoCo ー並列協調システムの実現を目指してー 司会 山崎 晴明 (沖電気)
- 分散型問題解決における問題解決プロトコル 石田 亨 (NTT)
- 北村 泰彦, 奥本 隆昭 (大阪市立大)

セッション 4 マルチメディア・インタフェース

- マルチメディア情報の理解と相互インタフェース 司会 若山 博文 (NTT)
- 恒川 尚 (東芝)

- 広帯域 ISDN ワークステーション (MONSTER)

勝山 恒男, 鎌田 肇, 鈴木 利光, 水口 有, 矢野 勝利 (富士通研)

~~~~~

「マルチメディア情報と分散協調」シンポジウム

参 加 申 込 書

平成元年 月 日

申込者 氏名 \_\_\_\_\_ 会員 No. \_\_\_\_\_

連絡先 (住所, 会社名, 所属) 〒 \_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_ Tel. \_\_\_\_\_

標記シンポジウムの参加を下記によって申し込みます。

○参 加 費 (該当するものを○印でかこむ)

正会員, 賛助会員 6,000 円 非会員 9,000 円 学生会員 1,000 円

○論 文 集 の み (3,000 円, 送料 400 円) 冊

○送 金 方 法

\_\_\_\_\_ 円を \_\_\_\_\_ 月 \_\_\_\_\_ 日送金します。(金額, 送金月日を記入のうえ該当する送金方法を○印でかこむ。)

a. 現金書留 (送金先 〒106 東京都港区麻布台 2-4-2 保科ビル (社)情報処理学会シンポジウム係)

b. 銀行振込 (いずれも普通預金口座)

|                                |         |           |         |
|--------------------------------|---------|-----------|---------|
| 第一勧銀虎ノ門支店                      | 1013945 | 富士銀行虎ノ門支店 | 993632  |
| 三菱銀行虎ノ門公務部                     | 0000608 | 三井銀行本店    | 4298739 |
| 住友銀行東京公務部                      | 10899   | 三和銀行東京公務部 | 21409   |
| 名義人 東京都港区麻布台 2-4-2 社団法人 情報処理学会 |         |           |         |

請求書類の必要な方はお申出ください。

(No. \_\_\_\_\_)

請求書 \_\_\_\_\_ 通, 見積書 \_\_\_\_\_ 通, 納品書 \_\_\_\_\_ 通  
請求先 \_\_\_\_\_

注) 申込書は1枚1人としてください (この用紙のコピーで可)。

## 「談話理解モデルとその応用シンポジウム」開催のお知らせ

談話理解は自然言語処理の中でも近年活発な研究がなされている領域です。自然言語処理研究会では、談話理解研究の現状を総括するとともに、将来を展望する目的で下記の予定でシンポジウムを開きます。皆様、奮ってご参加ください。

日 時 1989年11月16日(木), 17日(金)

会 場 ATR 自動翻訳電話研究所

619-02 京都府相楽郡精華町乾谷・三平谷

電話 07749-5-1311 (飯田)

(1) 近鉄奈良線「学園前」駅下車, タクシー 15分またはバス 20分

(2) 近鉄京都線「高の原」駅下車, タクシー 15分またはバス 20分

高の原駅 ATR バス停: 駅前バスロータリ近商側

(3) JR学研都市線「祝園(ほうその)」駅下車, バス 10分

祝園駅 ATR バス停: 精華町役場方向 30m, 田中時計店前

高の原, 祝園, ATR を巡回する ATR のバスをご利用ください。両日とも高の原を 9:00 発の臨時便を用意しますが, 高の原を 8:37 発の定期便もあります。高の原-祝園間は約 10 分です。

### ~~~~~ プ ロ グ ラ ム ~~~~~

11月16日(木) (9:30~20:00)

招待講演 (9:30~11:00)

司会 田中 穂積(東工大)

山梨 正明(京大)

●談話・推論・文脈

——休憩 (11:00~11:10)——

招待講演 (11:10~12:40)

司会 日高 達(九大)

片桐 恭弘(NTT)

●談話の世界とその計算モデル

——昼食 (12:40~14:00)——

パネル「応用の立場から見た談話理解モデル」(14:00~16:30)

司会 野村 浩郷(九工大)

パネラ 飯田 仁(ATR), 石崎 俊(電総研), 浮田 輝彦(東芝)

鈴木 浩之(松下電器), 田中 裕一(ICOT)

ATR見学 (16:30~17:30)

(音声言語翻訳実験システム, ニューラルネットによる音声認識実験システムなど)

懇親会 (18:00~20:00)

11月17日(金) (10:00~17:15)

一般講演「談話の計算モデル」(10:00~12:20)

司会 徳永 健伸(東工大)

桃内 佳雄(北海学園大)

●物語文章における時間的関係構造の解析のための基礎的考察

●多義性を含む文の解釈モデル

長尾 確(日本IBM)

●対話参加者を指示するゼロ代名詞の同定

堂坂 浩二(ATR)

●階層型プラン認識による対話理解と次発話の予測手法

山岡 孝行(ATR), 有田 英一(三菱電機), 飯田 仁(ATR)

——昼食 (12:20~13:30)——

一般講演「談話と文法」(13:30~15:15)

司会 田中 裕一(ICOT)

佐野 洋(ICOT)

●述語の階層分析と文脈構造

●質問文の前提

吉本 啓(NTT)

●論理型文法による依存構造解析

杉村 領一(松下電器), 福本 文代(ICOT)

——休憩 (15:15~15:30)——

一般講演「談話構造」(15:30~17:15)

司会 内藤 昭三 (NTT)

- 語用論処理を考慮した解釈の表現法について
- 話題を管理するための知識構造設計

加藤 恒昭 (NTT)

高野 啓 (三菱電機), 佐々木 泰, 高田 正之, 小谷 善行, 西村 恕彦 (農工大)

- 日本語テキスト理解における文脈構造抽出法 木下 聡, 小野 顕司, 浮田 輝彦, 天野 真家 (東芝)

※ 16日の夕方に懇親会を行います。会費は3,000円の予定です。皆様奮ってご参加ください。

## 「談話理解モデルとその応用」シンポジウム

### 参 加 申 込 書

1989 年 月 日

申込者 氏名 \_\_\_\_\_ 会員 No. \_\_\_\_\_

連絡先 (住所, 会社名, 所属) 〒 \_\_\_\_\_

Tel. \_\_\_\_\_

標記シンポジウムの参加を下記によって申し込みます。

○参 加 費 (該当するものを○印でかこむ)

正会員, 賛助会員 10,000 円 非会員 15,000 円 学生会員 1,500 円

○論 文 集 の み (3,000 円, 送料 400 円) 冊

○懇 親 会 参 加 費 3,000 円 (参加費と一緒に申し込みください。)

○送 金 方 法

\_\_\_\_\_ 円を \_\_\_\_\_ 月 \_\_\_\_\_ 日送金します。(金額, 送金月日を記入のうえ該当する送金方法を○印でかこむ。)

a. 現金書留 (送金先 〒106 東京都港区麻布台 2-4-2 保科ビル (社)情報処理学会シンポジウム係)

b. 銀行振込 (いずれも普通預金口座)

第一勧銀虎ノ門支店 1013945

富士銀行虎ノ門支店 993632

三菱銀行虎ノ門公務部 0000608

三井銀行本店 4298739

住友銀行東京公務部 10899

三和銀行東京公務部 21409

名義人 東京都港区麻布台 2-4-2 社団法人 情報処理学会

請求書類の必要な方はお申出ください,

(No. )

請求書

通, 見積書

通, 納品書

通

請求先 \_\_\_\_\_

注) 申込書は1枚1人としてください (この用紙のコピーで可)。

## 「グラフィクスと CAD シンポジウム」開催について

標記のシンポジウムに関して、多数の論文をご応募いただき誠にありがとうございました。論文審査の結果、下記要領でシンポジウムを開催することにいたしましたので、多数の方々のご参加をお願いいたします。

日 時 平成元年 11 月 21 日 (火) 9 時～22 日 (水) 17 時

場 所 機械振興会館大ホール (地下 2 階)

参 加 費 正会員 10,000 円, 非会員 15,000 円, 学生会員 1,500 円  
(論文集のみ 3,500 円, 送料 400 円)

申込締切 平成元年 11 月 10 日 (金) (定員 150 名になり次第締切らせていただきます)

### ~~~~~ プ ロ グ ラ ム ~~~~~

メインテーマ インダストリアルデザイン

第 1 日 (11 月 21 日 (火))

開 会 (9:00～9:10)

司会 宇野 栄 (日本 IBM)

● 挨拶

川合 慧 (東大)

セッション 1 モデリング (9:10～10:00)

司会 中嶋 正之 (東工大)

● 計算誤差による暴走のない図形演算アルゴリズム — スペースモデルによる実現

大沢 晃 (日立)

● 傾斜面を含む 3 面図からの 3 次元形状自動合成方法

米田 稔 (小松製作所)

——休憩 (10:00～10:20)——

セッション 2 曲線処理 (10:20～11:10)

司会 西原 清一 (筑波大)

● 多角形領域における工具経路用オフセット曲線の生成

梅崎 栄作 (日本工大)

● 拡張 2 次有理 Bezier 曲線を用いた曲線近似法とそのベクトルフォント作成への応用

斉藤 剛, 穂坂 衛 (電機大)

セッション 3 曲面処理 (11:10～12:00)

司会 長島 毅 (日本ユニシス)

● 有理曲面式による自由曲面形状の生成と評価

中島 洋, 木村 文彦, 山口 泰, 小林 一也 (東大)

● 自由曲面の特徴及び評価に関係する諸量および表示

穂坂 衛, 東 正毅, 久志本琢也 (電機大)

——昼休み (12:00～13:00)——

セッション 4 形状デザイン (13:00～14:15)

司会 近藤 邦雄 (埼玉大)

● 数理曲線による有機的形態の表現 — CASCULP-1

田中 四郎 (拓殖大)

● インダストリアルデザインにおける自由曲面の入力について

浦野 直樹, 南方 博視, 栗山 繁 (日本 IBM)

● 図形変形手法を用いたデザインシステムとその応用

加藤 陽一, 窪田 宏, 岩崎 謙次 (都立繊維工業試験場), 近藤 邦雄 (埼玉大)

セッション 5 招待講演 (14:15～15:15)

司会 福井 幸男 (製科研)

● インダストリアルデザインと CG

出原 栄一 (大阪芸大)

——休憩 (15:15～15:35)——

セッション 6 パネル講演 (15:35～16:50)

司会 服部 幸英 (日本鋼管)

● インダストリアルデザインにおける CG 技術動向の現状と展望

造形, 入力

倉賀野哲造 (ソニー)

形状表現, モデル

東 正毅 (豊田工大)

形状表示, 評価

小堀 研一 (シャープ)

——休憩 (16:50～17:00)——

セッション 7 パネル討論 (17:00～18:30)

司会 山口富士夫 (早大)

- インダストリアルデザインにおける CG への期待と限界

パネリスト 高梨 隆雄(東京工芸大), 倉賀野哲造(ソニー)  
東 正毅(豊田工大), 小堀 研一(シャープ)

第2日(11月22日(水))

セッション 8 画像生成(9:00~10:15)

司会 上西 博文(日立)

- EWS を利用したダイナミックビジュアライゼーションシステム

岡 明男, 吉岡 謙(東芝 CAE), 出川 誠, 神田 節雄(東芝)

- 可変歩幅 DDA による3次元画像メモリ空間での光線追跡

田山 典男, 漆間 文俊, 清水 則明, 千葉 則茂(岩手大)

- 画面領域情報の選択による光線追跡法の高速化

鳥羽 弘康(千葉大)

——休憩(10:15~10:30)——

セッション 9 表示技術(10:30~11:20)

司会 間瀬 健二(NTT)

- サーフェス上のラインに対するZバッファ隠面処理技法

多苗 彰彦(日電)

- 2段階スキャンライン走査によるアンチエイリアシング

田中 俊光, 高橋時市郎(NTT)

セッション 10 アニメーション(11:20~12:10)

司会 福井 一夫(NHK)

- ボクセルチェーンによる実時間3Dアニメーション生成システム

石井 郁夫, 小野 尚紀, 大和 淳二, 牧野 秀夫(新潟大)

- 時間変化図形の生成・記述の基本機能

藤村 是明(電総研)

——昼休み(12:10~13:10)——

セッション 11 記念講演(13:10~14:10)

司会 川合 慧(東大)

- 制約に基づく形状処理

安藤 英俊(東大)

セッション 12 拘束設計(14:10~15:00)

司会 松井 俊浩(電総研)

- 設計データベース構築に向けた3次元モデリングにおける制約の記述とその管理

沼尾 雅之, 嶋田 憲司, 増田 宏, 川辺 真嗣(日本 IBM)

- 一般化パス拘束による図の生成

中山 健, 川合 慧(東大)

——休憩(15:00~15:20)——

セッション 13 演算法(15:20~16:10)

司会 小川 博(NTT)

- 曲線を含むポリゴンに対する4×4行列式法の適用理論

山口富士夫, 新関 雅俊, 福永 嘉之(早大)

- 画像の高速精密幾何学変換 一対数表現数値演算法の利用

黒河 富夫(愛知工大)

セッション 14 マンマシンインタフェイス(16:10~17:00)

司会 守屋 慎次(電機大)

- マルチスクリーングラフィクス MCMS システムを用いた論理回路設計支援

國島 文生, 松本 忍, 荻野 博幸, 平石 裕実, 矢島 脩三(京大)

- Xウィンドウ上の MOVIE. BYU

船戸 康徳, 今宮 淳美(山梨大)



## 「グラフィクスと CAD」シンポジウム

## 参 加 申 込 書

平成元年 月 日

申込者 氏名 \_\_\_\_\_ 会員 No. \_\_\_\_\_

連絡先 (住所, 会社名, 所属) 〒 \_\_\_\_\_

Tel. \_\_\_\_\_

標記シンポジウムの参加を下記によって申し込みます。

○参 加 費 (該当するものを○印でかこむ)

正会員, 賛助会員 10,000 円 非会員 15,000 円 学生会員 1,500 円

○論 文 集 の み (3,500 円, 送料 400 円) 冊

○送 金 方 法

\_\_\_\_\_ 円を \_\_\_\_\_ 月 \_\_\_\_\_ 日送金します。(金額, 送金月日を記入のうえ該当する送金方法を○印でかこむ)

a. 現金書留 (送金先 106 東京都港区麻布台 2-4-2 保科ビル (社)情報処理学会 シンポジウム係)

b. 銀行振込 (いずれも普通預金口座)

第一勧銀虎ノ門支店 1013945

富士銀行虎ノ門支店 993632

三菱銀行虎ノ門公務部 0000608

三井銀行本店 4298739

住友銀行東京公務部 10899

三和銀行東京公務部 21409

名義人 東京都港区麻布台 2-4-2 社団法人 情報処理学会

請求書類の必要な方はお申出ください。

(No. \_\_\_\_\_)

請求書

通, 見積書

通, 納品書

通

請求先 \_\_\_\_\_

注) 申込書は1枚1人としてください(この用紙のコピーで可)。

## 「利用者指向の情報システムシンポジウム」開催について

情報システムが社会に急速に普及し浸透している今日, 利用者指向の情報システムをいかに実現するかが重要な課題となっております。特に, 組織体の総体から見た情報システムの計画・分析・設計など, システムインテグレーションの方法論や, 客観的な評価手法などについては, 理論的な研究も実際の応用事例も少なく, 体系的な議論が不足しております。そこで本シンポジウムでは, 利用者指向の情報システムの計画・分析・設計・評価の方法論, ならびに, その具体的な適用事例や研究動向などを展望し, 幅広い立場から討論を行う予定です。この問題に関心を持つ情報システムの設計者, 開発・運用担当者, 利用者, 管理者およびこの分野の研究者の参加をお願いします。

日 時 平成元年 12 月 8 日 (金) 9:40~19:30

9 日 (土) 9:40~17:10

場 所 東京大学山上会館 (113 東京都文京区本郷 7-3-1)

地 下 鉄・丸の内線「本郷三丁目」下車 徒歩 10 分

・千代田線「湯島」または「根津」下車 徒歩 15 分

バ ス・「東大赤門前」下車 徒歩 3 分

スクールバス・JR お茶の水駅より「東大病院前」下車 徒歩 1 分

・JR 上野駅より「東大病院前」下車 徒歩 1 分

参 加 費 正会員 10,000 円, 非会員 15,000 円, 学生会員 1,500 円

(論文集のみ 3,500 円, 送料 400 円)

懇 親 会 発表者やパネラとの個別討論や参加者どうしの親睦の場です。奮ってご参加ください。会費 3,000 円 (参加費と一緒に申し込みください)

申込締切 平成元年 11 月 15 日 (水) (定員 100 名になり次第締切らせていただきます)

~~~~~ プ ロ グ ラ ム ~~~~~

第1日 (12月8日 (金))

開会の辞 (9:40~9:50)

伊吹 公夫 (東京工科大)

招待講演 (9:50~10:50)

司会 伊吹 公夫 (東京工科大)

- 情報システムの品質

三浦 大亮 (東レシステムセンター)

——休憩 (10分)——

セッション 1 (11:00~12:15)

座長 槻木 公一 (JR 総研)

- カプセル化手法を用いた情報系データベースの一貫性維持について

山田 信雄, 堀内 一*, 田中 和明*, 大沢 康夫, 藤原 明
沢 ゆかり (三和システム開発, *日立)

- ユーザ指向のデータベース・システム〜構造データの処理と演繹機能

高須 淳宏 (学術情報センター), 倭 欣也 (日立), 大須賀節雄 (東大)

- 小規模・多目的システムの開発方法についての一考察

—日本語教育学習支援システムをめぐる—

鈴木 秀登, 村山 実, 下山 慎一, 遠山 元道, 浦 昭二 (慶大)

——昼食 (60分)——

セッション 2 (13:15~14:55)

座長 上野 滋 (総合ソフトウェア研究所)

- ロシア人形とスゴロク

—SA 手法 (CASE) とフローチャート手法を比較して—

坪内真知子 (マイズ)

- 情報システムのユーザ適応の条件と変化について

藤中 恵 (日立通信システム)

- SIAM における利用者ニーズの分析と活用

ソムジャリー・プリーヤノン・タカハシ (慶大)

- ISM 教材構造化法を利用したわかりやすい説明資料の作り方

佐藤 良順, 近藤 智子 (武田薬品工業)

——休憩 (20分)——

パネル討論会 (15:15~17:15)

司会 松谷 泰行 (多摩大)

- 情報システム・エンジニアの育成

外山 晴夫 (日本ユニシス), 橋山 直人 (花王), 松尾 行彬 (東洋情報システム)

道下 忠行 (東海大), 荻部 英司 (日本 IBM)

——移動 (15分)——

懇親会 (17:30~19:30)

於 山上会館 (地下食堂)

発表者やパネラとの個別討論や参加者どうしの親睦の場です。奮ってご参加ください。会費 3,000 円
(参加費と一緒に申し込みにください)

第2日 (12月9日 (土))

基調講演 (9:40~10:40)

司会 鷹野 澄 (東大)

- SIS 構築を意識したシステム・アーキテクチャのコンセプト

浅輪 寿男 (住友スリーエム)

——休憩 (10分)——

セッション 3 (10:50~12:30)

座長 平野 哲雄 (三井造船)

- 経営活動における情報システムの評価事例

初瀬川 茂 (東芝)

- 類型化モデルに基づく情報システムの評価と計画

歌代 豊, 出川 淳, 高寺 正人 (三菱総合研究所)

- DOAM ファイルサーバのシミュレーションとシステム評価

越田 一郎, 伊吹 公夫 (東京工科大)

- 製鉄所設備管理システムにおける開発の進め方

—利用部門及びシステム部門共同によるシステム開発事例—

箭川 旭, 牧 克彦, 妹尾 利夫 (新日鉄情報通信システム)

—昼 食 (60分)—

セッション 4 (13:30~15:10)

座長 上田 昭雄 (NHK コンピュータサービス)

- TCP/IP におけるインターネットワークの構築に関する考察 村上健一郎 (NTT)
- 「ASAHI パソコン・ネット」における利用者インタフェースの設計と実装
梅村 守, 岩崎 慎一, 鈴木 浩, 滝口 彰, 伊藤 重人 (朝日新聞社)
- 利用者指向の診断システムとその適用事例

篠原 専二, 富井 規雄, 佐藤 紀生, 奥秋 清次 (JR 総研)

- 自然画像入力による現場状況解析システムの設計 神沼 靖子 (帝京技術科学大)

—休 憩 (20分)—

セッション 5 (15:30~17:10)

座長 西原 良一 (日本ユニシス)

- 「超流通」研究計画の現在 森 亮一, 篠崎 雅英, 秋葉 喜之 (筑波大)
- これからの情報システムとその課題 下司 英機 (名古屋市熱田区役所)
- システムインテグレーションに関する一考察 米川 清 (三井情報開発), 会田 邦夫 (産能短大)
- 情報システム・インタフェース開発のライフサイクル 伊吹 公夫 (東京工科大)

閉 会 (17:10)

「利用者指向の情報システム」シンポジウム

参 加 申 込 書

平成元年 月 日

申込者 氏名 _____ 会員 No. _____

連絡先 (住所, 会社名, 所属) 〒 _____

Tel. _____

標記シンポジウムの参加を下記によって申し込みます。

○参 加 費 (該当するものを○印でかこむ)

正会員, 賛助会員 10,000 円 非会員 15,000 円 学生会員 1,500 円

○論 文 集 の み (3,500 円, 送料 400 円) 冊

○懇親会参加費 3,000 円 (参加費と一緒に申し込みください。)

○送 金 方 法

_____円を_____月_____日送金します (金額, 送金月日を記入のうえ該当する送金方法を○印でかこむ)。

a. 現金書留 (送金先 106 東京都港区麻布台 2-4-2 保科ビル

(社)情報処理学会シンポジウム係)

b. 銀行振込 (いずれも普通預金口座)

| | | | |
|--------------------------------|---------|-----------|---------|
| 第一勧銀虎ノ門支店 | 1013945 | 富士銀行虎ノ門支店 | 993632 |
| 三菱銀行虎ノ門公務部 | 0000608 | 三井銀行本店 | 4298739 |
| 住友銀行東京公務部 | 10899 | 三和銀行東京公務部 | 21409 |
| 名義人 東京都港区麻布台 2-4-2 社団法人 情報処理学会 | | | |

請求書類の必要な方はお申出ください。

(No.)

請求書 _____ 通, 見積書 _____ 通, 納品書 _____ 通
請求先 _____

注) 申込書は1枚1人としてください (この用紙のコピーで可)。

「教育におけるコンピュータ利用の新しい方法シンポジウム」

開催について

標記シンポジウムに関して、多数の論文をご応募いただきありがとうございました。論文審査の結果8月号の本欄でお知らせしましたとおり、下記の要領でシンポジウムを開催いたします。多数の方のご参加をお願いいたします。

日 時 平成元年12月14日(木)、15日(金)

場 所 機械振興会館大ホール(東京都港区芝公園)

参 加 費 正会員 10,000 円、非会員 15,000 円、学生会員 1,500 円
(論文集のみ 3,500 円、送料 400 円)

申込締切 平成元年11月30日(定員150名になり次第締め切らせていただきます)

~~~~~プログラム~~~~~

12月14日(木)

セッション1 (9:30~11:00)

司会 渡辺 成良(群馬大)

- HyperCard に基づくプログラミング言語用知的 CAI システム 酒井 仁, 海尻 賢二(信州大)
- 論理的思考・推論能力を育む知的シミュレーションに関する研究 森 英一(中間高校へ), 竹内 章, 大槻 説乎(九工大)
- ハイパーメディアと Prolog による知的 CAI システム

明神 知, 井谷 浩二, 寺氏 悟, 大槻 佐枝(オージー情報システム総研)

セッション2 (11:15~12:45)

司会 対馬 勝英(大阪電通大)

- 授業における Groupware 利用の可能性 小郷 直言(国立高岡短大)
- 知識取り込み型 CAI: KACE II の実現 池上 一郎, 山本 米雄(徳島大)
- IAC——「利用者が教える」というパラダイムによる教育ツール 小谷 善行(農工大)

——昼 食 (12:45~13:45)——

セッション3 (13:45~15:45)

司会 伊藤 紘二(東理大)

- ITS を指向した認知モデルと教育戦略 平島 宗, 中村 祐一, 池田 満, 溝口理一郎, 豊田 順一(阪大)
- 知的 CAI における教授知識・教授戦略の構成法に関する一考察 松原 行宏, 長町 三生, 小野 真道(広島大)
- 教授知識の階層的分割に基づく教育モデル 中村 祐一, 平島 宗, 上原 邦昭, 豊田 順一(阪大)
- 対象理解のための問題解決モデルと教育戦略 柏原 昭博, 平島 宗, 中村 祐一, 豊田 順一(阪大)

——休 憩 (15:45~16:00)——

セッション4 (16:00~18:00)

司会 岡本 敏雄(東京学芸大)

- 文脈認識により式変形を指導する分数計算の知的 CAI 近藤 弘樹(佐賀大)
- 知的 CAI システム MICAI における教授方法 大槻 説乎, 竹内 章(九工大), 渡辺 健次(佐賀大)
- ITS のための汎用フレームワークの設計と実現 知念 徹(三菱電機コントロールソフトウェア)
- バギーモデルと効率の良いエラー同定法 池田 満, 河野 恭之, 溝口理一郎(阪大)
- 奥畑 健司, 野村 康夫(関西大)
- 福田 章夫, 徳田 尚之(宇都宮大)

12月15日(金)

セッション5 (9:00~10:30)

司会 竹内 章(九工大)

- 数学学習環境支援システム LETS/Math

赤石 雅典, 日高 一義, 中山 恭興, 佐貫 俊幸, 宇土 正浩(日本 IBM)

- テキストベースの自由探訪を支援するシステム
一手がかり表現作成支援と手がかり表現の利用について— 伊藤 紘二, 伊丹 誠 (東理大)
- プログラム理解機能をもつ教育向き知的プログラミング環境 上野 晴樹 (東京電機大)

— 休憩 (10: 30~10: 45) —

セッション 6 (10: 45~12: 15)

- BASIC 実習教育支援システム BS-ASSIST 司会 山本 米雄 (徳島大)
- 知識とスクリプトによる助言の推論機能について 加賀 英徳, 対馬 勝英 (大阪電通大)
- 知的訓練システム GTS-PDTS の概要 渡辺 成良, 尾池 弘美 (群馬大), 宮道 壽一 (宇都宮大)
- 乾 昌弘 (大阪ガス)

— 昼食 (12: 15~13: 15) —

セッション 7 (13: 15~15: 15)

- 知識定着レベルを導入した ITS —英文変形規則を対象として— 司会 乾 昌弘 (大阪ガス)
- 知識獲得指向の高次推論型学習者モデルの構成について 木村 吉伸, 山本 米雄 (徳島大)
- 一集合演算アルゴリズム理解の学習世界において— 岡本 敏雄 (東京学芸大), 松田 昇 (金沢工大)
- 知的 CAI における話題の連続性についての研究 新ヶ江登美夫 (福岡大), 竹内 章, 大槻 説乎 (九工大)
- 知識教授システム MODAL-TUTOR 広瀬 篤嗣, 梶野 修, 原田 佳明 (松下電器)

— 休憩 (15: 15~15: 30) —

セッション 8 (15: 30~17: 30)

- 個別指導 CAI 司会 宇土 正浩 (日本 IBM)
- オンライン CMI システムの設計 廣澤 晃一 (富士通)
- 問題解析による C 言語教育支援システム 永岡 慶三 (神戸大)
- 中津山幹男, 長橋 宏, 西塚 典生, 水沼 充, 杉本 皆子 (山形大)
- ゴール/プラン分析法による初心者 of COBOL プログラムの誤り分析 江木 鶴子, 岡村健史郎 (宇部短大), 長田 一興 (近畿大)

~~~~~

「教育におけるコンピュータ利用の新しい方法」シンポジウム

参 加 申 込 書

平成元年 月 日

申込者 氏名 \_\_\_\_\_ 会員 No. \_\_\_\_\_

連絡先 (住所, 会社名, 所属) 〒 \_\_\_\_\_

Tel. \_\_\_\_\_

標記シンポジウムの参加を下記によって申し込みます.

○参 加 費 (該当するものを○印でかこむ)

正会員, 賛助会員 10,000 円 非会員 15,000 円 学生会員 1,500 円

○論 文 集 の み (3,500 円, 送料 400 円) 冊

○送 金 方 法

\_\_\_\_\_円を \_\_\_\_\_月 \_\_\_\_\_日送金します (金額, 送金月日を記入のうえ該当する送金方法を○印でかこむ)

a. 現金書留 (送金先 〒106 東京都港区麻布台 2-4-2 保科ビル (社) 情報処理学会 シンポジウム係)

b. 銀行振込 (いずれも普通預金口座)

第一勧銀虎ノ門支店 1013945	富士銀行虎ノ門支店 993632
三菱銀行虎ノ門公務部 0000608	三井銀行本店 4298739
住友銀行東京公務部 10899	三和銀行東京公務部 21409
名義人 東京都港区麻布台 2-4-2 社団法人 情報処理学会	

請求書類の必要な方はお申出ください.

(No. \_\_\_\_\_)

請求書 \_\_\_\_\_ 通, 見積書 \_\_\_\_\_ 通, 納品書 \_\_\_\_\_ 通  
請求先 \_\_\_\_\_

注) 申込書は 1 枚 1 人としてください (この用紙のコピーで可).

## 「第 31 回 プログラミング・シンポジウム」開催のお知らせ

標記シンポジウムを下記の要領で開催いたしますので、多数の方々のご参加をお願いいたします。参加ご希望の方は、期日までに所要事項を申込書に記入のうえ、お申し込みください。本シンポジウムの趣旨から、「情報処理分野で多くの経験のある方、また、これにつよい関心をもち積極的に勉強されている若い新鮮な方で、特にシンポジウムにおいて有益な形で討議に参加しようという意欲のある」多数の方々の参加を希望します。

### 記

- 日 時** 1990 年 1 月 9 日 (火) 午前 10 時 受付開始 (この日の昼食は用意しません)  
午後 1 時 開会  
11 日 (木) 午後 1 時 閉会
- 場 所** 箱根ホテル小湧園 (神奈川県足柄下郡箱根町二の平 1297) Tel. 0460 (2) 4111
- 交 通** 路線バス：小田原駅表口 <登山バス> 箱根町行～小湧園前 約 40 分  
箱根湯本駅～小湧園前 約 30 分  
タクシー：小田原駅表口～小湧園前 約 30 分  
箱根湯本駅～小湧園前 約 20 分
- 参 加 費** (予稿集代、宿泊費を含む、カッコ内は非会員参加費)  
☆大学院学生 23,000 円 (26,000 円)  
☆大学助手以上、研究所関係者 30,000 円 (35,000 円)  
☆会社関係者 35,000 円 (40,000 円)  
※二つ以上の身分をお持ちの場合は、高い方の会費を適用させていただきます。

**申込締切** 1989 年 11 月 30 日 (木)

- 注) 1. 参加申し込み後やむを得ず参加を取り消される場合は、12 月 18 日までにお願いします。取り消しの連絡の無い場合は、準備の都合上、参加費を徴収させていただきます。事情による代理の参加は認めず。  
2. 会場、宿泊施設の都合で、お申し込みに応じかねる場合がありますので、あらかじめご了承ください。  
3. 同一所属からの参加者数は適当にご調整ください。  
4. 開催期間中の中途での出入りや、人員の交替はご遠慮ください。

### ~~~~~ プ ロ グ ラ ム ~~~~~

#### 第 1 日 1 月 9 日 (火)

○開会の辞 (13:00～13:20)

米田委員長

セッション 1 (13:20～14:40)

#### ●手書きユーザインタフェース

曾谷 俊男, 本間 正之, 幸田恵理子, 福島 英洋, 中川 勇, 中川 正樹, 高橋 延匡 (農工大)

#### ●表エディター

椎尾 一郎, 坂入 隆 (日本 IBM)

——休 憩 (14:40～15:00)——

セッション 2 (15:00～15:40)

#### ●PL/I 初心者エラー相談システム

木下 成顕, 平賀 譲 (図書館情報大)

——休 憩 (15:40～16:00)——

★招待講演 (16:00～17:00)

#### ●コンピュータの mother-tongue はなぜ英語か (仮題)

竹内 啓 (東大)

★報 告 (17:00～17:20)

#### ●夏のシンポジウム、若手の会、GPCC、山内賞の報告

——夕 食 (18:00～19:00)——

○自由討論

第2日 1月10日(水)

セッション3 (9:00~10:20)

- 日本語情報処理指向の並列処理用 OS “OS/omicon”

並木美太郎, 岡野 裕之, 堀 素史, 横関 隆, 早川 栄一, 中川 正樹, 高橋 延匡 (農工大)

- オペレーティングシステム開発における「環境問題」 多田 好克 (電通大)

——休憩 (10:20~10:40)——

セッション4 (10:40~12:00)

- ラムダ図 (LAD): ラムダ式の図形表現

二村 良彦, 野木 兼六, 高野 明彦 (日立)

- 種々の比例代表制アルゴリズムの比較について

有澤 誠 (山梨大)

——昼食 (12:00~13:20)——

セッション5 (13:20~14:40)

- ニューラルネットワークを用いた制約論理プログラミング

山下 義行 (東大)

- M-cube: マルチメディア知識システムの構築環境

寺野 隆雄, 小野田 崇, 鈴木 道夫 (電力中研)

上西 勝也 (関西電力)

——休憩 (14:40~15:00)——

セッション6 (15:00~16:20)

- スーパーコンピュータ上でのグラフ問題の高速化

安村 通見, 小島 啓二 (日立)

- 形態素解析を利用した日本語スペルチェッカ

下村 秀樹, 高橋 延匡 (農工大)

——休憩 (16:20~16:40)——

セッション7 (16:40~17:20)

- 学術・研究目的のコンピュータコミュニケーション基盤の構築

村井 純 (東大)

——夕食 (18:00~19:00)——

○自由討論

第3日 1月11日(木)

セッション8 (9:00~10:20)

- マルチプロセッサ LISP マシン MacELISII

三上 博英, 村上健一郎 (NTT)

- 並列 lisp 処理系によるXウィンドウシステム・インターフェイスの構築

新田 善久 (東大)

——休憩 (10:20~10:40)——

セッション9 (10:40~12:00)

- 究極のデザイン CAD を目指して

古川 進, 伊藤 誠 (山梨大)

山田 晋 (トヨタ自動車), 萩原 茂 (山梨県工業技術センター)

- コンピュータに「絵」を描かせるには…(Part II)

斎藤 隆文, 高橋時市郎 (NTT)

○閉会の辞 (12:00~12:10)

米田委員長

※ 自由討論, ポスターセッション, マイコン/ビデオデモなどを予定しています. 参加ご希望の方はご用意ください.

※ 一般講演は, 発表 25 分, 討論 15 分, また招待講演は講演 45 分, 質問 15 分を予定しています.

なお, 日程については若干の変更があるかもしれません.

## 「第 31 回 プログラミング・シンポジウム」

## 参 加 申 込 書

1989 年 月 日

1. フリガナ  
氏 名 \_\_\_\_\_ 男・女  
所 属 \_\_\_\_\_  
連 絡 先 (〒 ) \_\_\_\_\_  
電話 \_\_\_\_\_

2. 参 加 区 分                      会 員                      非会員  
☆ 大学院学生                      ☐                      ☐  
☆ 大学助手以上                      ☐                      ☐  
    研究所関係者  
☆ 会社関係者                      ☐                      ☐  
    会員番号 \_\_\_\_\_

※ 参加区分は、該当の□に×を入れてください。さらに情報処理学会会員の方は、会員番号もご記入ください。記入のない場合は、会社関係者・非会員として取扱います。

## 3. 送金・支払方法

a. 当日持参します。

¥ \_\_\_\_\_ 也を次の方法で送金します。(送金日 \_\_\_\_ 月 \_\_\_\_ 日)

b. 現金書留      c. 郵便振替 (東京 5-83484)      d. 銀行振込 ( \_\_\_\_\_ 銀行宛)

銀行振込口座番号 (いずれも普通預金)

第一勧銀虎ノ門支店 1013945      富士銀行虎ノ門支店 993632

三菱銀行虎ノ門公務部 0000608      三 井 銀 行 本 店 4298739

住友銀行東京公務部 10899      三和銀行東京公務部 21409

名義人 東京都港区麻布台 2-4-2 社団法人 情報処理学会

請求書類の必要な方はお申出ください。

(No. \_\_\_\_\_)

請求書                      通, 見積書                      通, 納品書                      通  
請求先 \_\_\_\_\_

## 4. 次の各項目は部屋割の資料として使います。

◇ 年 齢      歳・内緒

◇ 宿泊室は 喫煙室希望・禁煙室希望・どちらでもよい

◇ そのほか特に希望があれば記入してください (必ずそのとおりにすると約束はできません)

## 5. 次の各項目はシンポジウムの運営の参考にします。

◇ 夜の自由討論の希望テーマ \_\_\_\_\_

◇ ポスター・マイコンデモなどの展示, 発表希望 \_\_\_\_\_

## 6. 送付先・問合せ先

情報処理学会「プログラミング・シンポジウム」係

106 東京都港区麻布台 2-4-2 保科ビル Tel. 03 (505) 0505

## 第 2 回「統合ネットワーク管理」 国際シンポジウム論文募集 (第 2 版)

- 目 的** IFIP の国際シンポジウムであり、統合ネットワーク管理の実現に向けて、製品開発者、システム統合者、研究者および利用者間で、情報交換・意見交換を行う。
- なお、第 1 回は、1989 年 5 月にボストンで開催され、非常に盛況であった。
- 内 容** トータルシステム管理への要求条件  
モデルとアーキテクチャ  
OSI およびその他の標準の適用  
障害、構成、会計、性能およびセキュリティ管理  
サービス品質管理  
管理情報の定義と格納  
管理プロトコル  
異機種システムの管理  
管理領域の原則と実際  
ネットワーク間の管理問題  
AI 技術  
利用者インタフェースおよび管理言語  
管理のための分散オペレーティングシステム  
実装およびケーススタディ
- 論文形式** シングルスペースで A 4 最大 12 ページ
- 日 時** 1990 年 10 月/11 月の 4 日間 (詳細未定)
- 場 所** Palais des Congres, Antibes on French Riviera (予定)
- 原稿締切** 1990 年 2 月/3 月 (詳細未定) 論文審査有り
- 問合せ先** NTT ネットワークシステム開発センタ 通信網技術部 森野和好  
100 東京都千代田区内幸町 1-2-1 日土地ビル  
Tel. 03 (509) 5260 Fax. 03 (597) 0462

## 「1990 年並列処理シンポジウム JSPP '90」論文募集

情報処理機械としてのコンピュータの出現以来、効率のよい並列処理の実現は夢でありつづけてきました。近年のハードウェアの進歩はその夢を可能にする技術的基盤を与えているように思えます。ある人は、現在の技術水準を評して、並列処理という永遠の女神の後髪をつかんだと言います。ハードウェア、ソフトウェアから応用まで、また、理論からシステム構築まで、並列処理技術に関する広い範囲の話題について議論し、技術水準の向上につとめようではありませんか。

- テ ー マ** (1) 並列処理の基礎理論 (計算モデル、ネットワークなど)  
 (2) 並列アルゴリズム  
 (3) 並列処理ソフトウェア (言語、オペレーティングシステム、データベース処理など)  
 (4) 並列計算機アーキテクチャ  
 (5) 並列処理の応用  
 (6) その他、ニューロンコンピューティング、光コンピューティングなど
- 日 時** 1990 年 5 月 17 日 (木)～5 月 19 日 (土)
- 場 所** 工業技術院筑波研究センター共用講堂 (茨城県つくば市東 1-1-4)
- 申込締切** 1989 年 12 月 20 日  
 発表申込票に必要事項を記入し、A4 判 1 ページ (1,500 字程度) の発表概要を添えてお申し込みください。実行委員会において審査を行います。
- 原 稿** 185 国分寺市東恋ヶ窪 1-280 (株)日立製作所 中央研究所第 8 部
- 送 付 先** 田中輝雄 Tel. 0423 (23) 1111 (Ex. 3811) Fax. 0423 (26) 2130  
 E-mail ttanaka@crl.hitachi.co.jp
- 共 催** 情報処理学会データ・ベース研究会, 同計算機アーキテクチャ研究会, 同オペレーティング・システム研究会, 同数値解析研究会, 同プログラミング言語研究会, 同アルゴリズム研究会, 電子情報通信学会コンピュータシステム研究会
- 協 賛** ソフトウェア科学会
- 日 程** 1989 年 12 月 20 日 (水) 発表概要締切  
 1990 年 1 月 31 日 (水) 審査結果通知  
 4 月 11 日 (水) カメラレディ原稿締切
- 主 な 委 員 長** 弓場敏嗣 (電総研)
- 実行委員** 副委員長 長島重夫 (日立), 米澤明憲 (東大)  
 幹 事 後藤厚宏 (ICOT), 田中輝雄 (日立), 山口喜教 (電総研)

### 発 表 申 込 書

発表題目:

発表者 (略称所属):

連絡先:

(Tel. Fax. )

キーワード (3 個程度):

データベース・ウィーク'89

平成元年 12 月 3 日(日) から 8 日(金) まで、(社)情報処理学会 (IPSJ) と(財)京都高度技術研究所 (ASTEM RI/Kyoto) の共催 (又は単独主催) でアドバンスト・データベース・システムシンポジウム (ADS シンポジウム), 第 1 回演繹・オブジェクト指向データベース国際会議 (DOOD '89), DOOD チュートリアル, 近未来 DB 技術展を次のような日程で開催します。奮ってご参加くださいますようお願いいたします。参加については、ホテル等の予約の都合上添付の申込書に必要事項を記入の上、郵送ください。(申込みは個別に行えます)

12 月 3 日 (日)	DOOD チュートリアル
4 日 (月)	DOOD '89
5 日 (火)	DOOD '89 近未来 DB 技術展
6 日 (水)	DOOD '89 近未来 DB 技術展
7 日 (木)	ADS シンポジウム 近未来 DB 技術展
8 日 (金)	ADS シンポジウム

アドバンスト・データベース・システム・シンポジウム

会 場 京都リサーチパーク サイエンスセンタービル内会議場  
プログラム (7 日は英語, 8 日は日本語による発表とする予定)

12 月 7 日(木)

〔A会場〕

オープニングセッション

セッション A 1: オブジェクト指向 DB における言語, タイプとスキーマ

- Access Schema Manager in a Persistent Object Environment  
N. Le Thanh, M. Collard, G. Bonfils, F. Labene and S. Miranda
- An Object Oriented Database Programming Language Model  
Tatsuo Minohara and Mario Tokoro (Keio University)
- Typing in Object Bases  
Alfons Kemper and Guido Moerkotte

セッション A 2: オブジェクトとルールの融合

- A Logic for Objects and Inheritance  
E. Laenens, D. Vermeir, B. Verdonk and A. Cuyt
- An Integration of Entity-Relationship Model, First Order Logic, and Sets: the F1 Language  
T. Herve
- Separating Structural and Semantic Elements in Object Oriented Knowledge Bases  
E. Neuhold, Y. Perl, J. Geller and V. Turau

セッション A 3: オブジェクト指向 DB の設計, 応用と拡張

- Accommodating Application Dynamics in an Object Database System  
Qing Li
- A Design Methodology and Its Associated Tools for Object-Oriented Databases  
C. Rolland, C. Cauvet and C. Proix
- Multimedia Data Model for Advanced Image Information System  
Toshikazu Kato and Tetsuya Mizutori (ETL)
- Temporal Object-Oriented Databases: (I) Data Model and Formalism  
P. Goyal, M. Okada, Y. Z. Qu and F. Sadri

セッション A 4: オブジェクト指向 DB の実現手法

- Issues in Indexing Techniques for Object-Oriented Databases  
Elisa Bertino

- Extending Object-Oriented Systems to Support Dialectic Worldviews  
Shigeru Watari, Shinji Kono, Ei-ichi Osawa, Rik Smoody, and Mario Tokoro\*
- Tailoring Object-Oriented Data Models through Metaclasses  
W. Klas, E. J. Neuhold and M. Schreff

〔B会場〕

セッション B 1: 関係データベース

- Language Support for Implementing a Distributed Main Memory RDBMS  
C. A. van den Berg, P. M. G. Apers and P. America
- A Relational Approach to Semantic Query Optimization  
J. P. Cardiff
- Contextual Equivalence of Conceptual Schemas  
T. A. Halpin

セッション B 2: テキスト/グラフィカルデータベース

- An Index-Free Full Text Search Machine for Large Japanese Text Bases  
Kanji Kato, Hiromichi Fujisawa, Hisamitsu Kawaguchi, Atsushi Hatakeyama,  
Tatsuya Murakami, Mitsuo Ohyama, Noriyuki Kaneoka, and Mitsuru Akizawa (Hitachi)
- Design and Development of a Text Retrieval Machine  
Dik Lun Lee
- GROG: Geographical Queries using Graphs  
Michel Mainguenaud

セッション B 3: エキスパート/演繹データベース

- Knowledge Representation in an Expert Database System  
D. Zhou
- Discovery and Analysis of Strong Rules in Databases  
Gregory Piatetsky-Shapiro
- Set-Oriented verses Tuple-Oriented Processing: Transitive Closure Algorithm Revisited  
Hongjun Lu and Lingling Yan
- Efficient Bottom-up Evaluation of Negative Closed Queries on Stratified Databases  
Takahiko Suzuki, Toshihisa Takagi, Kazuo Ushijima (Kyushu University)

セッション B 4: 分散 DB と同時実行制御

- A Distributed CAE Database  
Hakan Söderström
- An Automated Integrated Concurrency Control Algorithm: Merging Optimistic and  
Pessimistic Techniques  
P. Muthuvelraj, J. Canning and P. O'neil
- Performance Evaluation of Database Concurrency Control Protocols in Wide Area  
Networks-The Broadcast Case  
Gus A. Galatianos

12月8日(金)

〔A会場〕

招待講演

- CIM とデータベース (仮題)  
原 滋夫 (日本 IBM)

セッション A 5: サーベイ I

- ファジィ・データベースの動向 (仮題)  
馬野 元秀 (阪大)
- 演繹データベースの問い合わせ最適化の動向  
宮崎 収兄 (沖電気)

セッション A 6: サーベイ II

- 演繹・オブジェクト指向データベースの構築に向けて (最近の研究動向から)  
横田 一正 (ICOT), 西尾章治郎 (阪大)
- データベースにおけるハイパテキスト  
宮地 泰造 (三菱)

〔B会場〕

セッション B 5: オブジェクト指向モデルの応用

- クラス階層モデルによる文書データベースの実現方法 安田 英人, 大山 茂春, 工藤繁登志 (富士通)
- オブジェクト指向の概念を導入した論理データベースのための項表現  
塚本 昌彦 (シャープ), 西尾章治郎 (阪大), 長谷川利治 (京大)

- ・階層化オブジェクト指向データモデルとその情報資源管理への応用 原田 隆, 池田 秀人 (広島大)
- ・言語データベースの管理と検索機能 橋本 一男, 小倉健太郎, 森 元暉 (ATR)
- ・分散データベースシステムを利用したパソコン CAD 図面管理システムの開発

渡辺 澄江, 谷内田 仁, 出川 誠, 神田 節雄, 高橋 俊明 (東芝)

#### セッション B6: マルチメディア DB とハイパーメディア

- ・Multimedia Interaction with Image Database System

T. Kato, T. Kurita, and H. Shimogai (ETL)

- ・マルチメディア対応マッピングシステムにおける視点別記述と自動処理伝播機構

嶋田 茂, 倉田 朗子 (日立)

- ・An Object-Oriented Knowledge Base Management System as a Next Generation of Hypermedia Engine

H. Ishikawa (Fujitsu)

- ・IMAGE MNEMONICS—Indexing and Communication—

H. Kasahara, T. Horikoshi, and S. Abe (NTT)

#### パネルセッション (A会場)

ハイパーメディアとデータベースシステム

パネラ

田中 譲 (北大), 有澤 博 (横浜国大), 下條 真司 (阪大), 暦本 純 (日電)

### 第1回 演繹・オブジェクト指向データベース国際会議 (DOOD '89)

会場 京都リサーチパーク サイエンスセンタービル内会議場

プログラムについては前月号本欄を参照してください。

参加登録費 一般: 30,000 円 (事前登録)/40,000 円

学生: 10,000 円 (事前登録)/18,000 円

事前登録は 1989 年 11 月 1 日で締切る。

バンケット (12 月 5 日) 参加料は別途 5,000 円必要。

問合せ先 DOOD '89 事務局

〒600 京都市下京区中堂寺南町 17

京都リサーチパーク サイエンスセンタービル

(株)サイエンスセンター・インターナショナル (SCI) 内

(Tel. 075 (322) 7888 (代) Fax. 075 (322) 5348 宮崎)

### DOOD チュートリアル

会場 京都リサーチパーク内 (財)京都高度技術研究所 2F 研修室

プログラム [セッションA]

午前 10:30~午前 11:50 オブジェクト指向データベース (基礎概念) 田中 克己 (神戸大)

午後 1:00~午後 2:20 演繹データベース (基礎概念) 西尾章治郎 (阪大)

[セッションB]

午後 2:30~午後 3:50 オブジェクト指向データベースシステムのアーキテクチャ (仮題)

Won Kim (MCC)

午後 4:00~午後 5:20 オブジェクト指向データベースの応用 (仮題)

Stanley Zdonik (ブラウン大学)

参 加 費

	全セッション	セッションA	セッションB
一 般	¥ 15,000	¥ 8,000	¥ 8,000
学 生	¥ 3,000	¥ 2,000	¥ 2,000

定 員 100 人

問合せ先 DOOD チュートリアル・展示会 事務局  
〒600 京都市下京区中堂寺南町 17  
京都リサーチパーク (財)京都高度技術研究所内  
(Tel. 075-315-3625 Fax. 075-315-3614 森田)

近未来 DB 技術展（出展募集中）

会 場 京都リサーチパーク内 (財)京都高度技術研究所 5, 6Fフロア  
主 旨 データベースシステム, ハイパーメディアシステムを集めた展示会, および展示品に関する開発メー  
カー担当者などによる技術的な説明発表会を行う予定です.  
展 示 (説明発表を含めて) 募集中: 国内企業 30 社, 海外企業数社, 国内外学術機関を予定.  
内 容 データベース管理システム (DBMS), データベース設計支援ツール, マルチメディア・データベース  
管理システム, ハイパーテキスト, ハイパーメディア, マルチメディアパソコン/ワークステーション  
問合せ先 DOOD チュートリアル・展示会事務局  
〒600 京都市下京区中堂寺南町 17  
京都リサーチパーク (財)京都高度技術研究所内  
(Tel. 075-315-3625 Fax. 075-315-3614 笹倉)



## データベース・ウィーク '89 参加登録および宿泊申込書

氏名 (日本語)		氏名 (英語)	
所属 (日本語)		所属 (英語)	
住所 (日本語)			
住所 (英 語)			
電話		fax.	e-mail
DOOD チュートリアル 参加登録費	一 般	<input type="checkbox"/> 全セッション (¥15,000) <input type="checkbox"/> セッションA (¥ 8,000) <input type="checkbox"/> セッションB (¥ 8,000)	
	学 生	<input type="checkbox"/> 全セッション (¥ 3,000) <input type="checkbox"/> セッションA (¥ 2,000) <input type="checkbox"/> セッションB (¥ 2,000)	
DOOD '89 国際会議 参加登録費	一 般	<input type="checkbox"/> 11月1日まで (¥30,000) <input type="checkbox"/> 11月2日以降 (¥40,000)	
	学 生	<input type="checkbox"/> 11月1日まで (¥10,000) <input type="checkbox"/> 11月2日以降 (¥18,000)	
	バンケット <input type="checkbox"/> 一般・学生とも ¥5,000		
アドバンスト・データ ベース・システム・シン ポジウム参加登録費	会 員	<input type="checkbox"/> ¥10,000      非会員 <input type="checkbox"/> ¥15,000	
	学 生	<input type="checkbox"/> ¥ 1,500	
宿泊予約および予約金 (京都東急ホテル)	ツ イン	<input type="checkbox"/> クラスA (¥18,000) <input type="checkbox"/> クラスB (¥12,000) <input type="checkbox"/> クラスC (¥11,000)	
	シングル	<input type="checkbox"/> クラスA (¥11,000) <input type="checkbox"/> クラスB (¥ 8,000) <input type="checkbox"/> クラスC (¥5,500) (但し 40 室のみ)	
	到着月日 平成元年    月    日 出発月日 平成元年    月    日		
	宿泊予約金は1部屋につき ¥10,000 です。		
支 払 い 方 法	<input type="checkbox"/> 現金書留 <input type="checkbox"/> 振込み (必ず振込用紙のコピーを送付してください) 振込先 富士銀行京都支店 普通預金 No. 430-290030 株式会社 日本交通公社京都支店		
申込み書送付先および 問い合わせ先	〒600 京都市下京区東塩小路町 (株)日本交通公社京都支店国際旅行課 DOOD '89 係 担当: 石部, 三上 電話: 075 (361) 7241 Fax. 075 (341) 1028		
申込み期限	平成元年 11 月 20 日		

第6回色彩工学コンファレンス  
(第35回光学四学会連合講演会)

主 催：光学四学会（照明学会、日本色彩学会、日本写真学会、応用物理学会分科会日本光学会）  
協 賛：画像電子学会、情報処理学会、テレビジョン学会、電気学会、電子写真学会、電子情報通信学会、  
日本印刷学会、日本心理学会、日本デザイン学会、日本M E学会、レーザー学会、色材協会

第6回色彩工学コンファレンスを下記のように開催いたします。

また、展示会『カラーテクノロジーJAPAN'89』（入場無料）を

併催いたします。関連分野の方々の積極的参加を期待します。

日 時：1989年11月15日（水） 10：00～17：40

16日（木） 9：20～17：40

会 場：全電通ホール（東京・お茶の水・神田駿河台）

東京都千代田区神田駿河台3-6 ☎ 03(219)2213

参加費：共催協賛学会会員 9,000円 }  
非 会 員 11,000円 } 論文集代  
学 生 4,000円 } 含みます。

申込・送金方法：

(1)銀行振込の場合：申込書に必要事項をご記入の上、お送りください（FAX可）。

三菱銀行・浜松町支店（018）・普通・0062404  
口座名「こうがくよんがつかいかんじ かい光学四学会幹事会」

(2)郵便振替の場合：東京 8-69794 口座名「光学四学会幹事会」

振替用紙の通信欄に、申込書と同じ事項をお書きください（個人名も）。

郵便振替のときは申込書は送らないでください（二重登録になりますので）。

(3)申込書が事務局に届き次第、参加受付証をお送ります。

(4)申 込 先：〒105 東京都港区浜松町2-12-14 第2日化ビル 連企画気付

「色彩工学コンファレンス事務局」 ☎03(433)2543 FAX03(433)2544

\*申込みは論文集の余裕のある範囲で当日も受け付けますが、なるべく11月6日までにお申込みください。

論文集：当日、会場でお渡します（欠席のかたには、コンファレンス終了後郵送します）。

論文集のみご希望のかたには、9,000円で終了後郵送します。

.....キ.....リ.....ト.....リ.....セ.....ン.....

第6回色彩工学コンファレンス参加申込書

氏 名	所 属 学 会	
連絡先 〒		
所在地	資 格	会 非 学 員 会 生 員
機関名	送 金 金 額	円
所 属		



## 第6回色彩工学コンファレンス プログラム

### 第1日 11月15日(水) 10:00~17:40

開会の辞(10:00~10:10)

石井弘允実行委員長(照明学会、日大)

#### 1. 光源・演色性(10:10~11:50)

座長 鈴木恒男(富士フィルム)

1-1 標準の光D<sub>65</sub>用常用光源の特性と応用(招待講演)

秋山順悦(東芝ライテック)

1-2 HIDランプの演色性について(招待講演)

杉浦 稔(岩崎電気)

1-3 美術館用蛍光灯照明のカラー写真適性評価 ○久保走一・神山浩一・荒井宏子・杉浦格也(千葉大)

#### 2. カラー画像表示(13:00~14:20)

座長 畑田豊彦(東工芸大)

2-1 医療におけるカラー画像処理(招待講演)

大山永昭(東工大)

2-2 カラーホログラフィーその発展と色再現(招待講演)

久保田敏弘(京都工繊大)

#### 3. 色再現(1)(14:40~16:00)

座長 犬井正男(コニカ)

3-1 カラーフィルムの色再現の最近の進歩(招待講演)

佐々木登(富士フィルム)

3-2 好ましい肌色に関する人種間の比較

鈴木恒男・石井清二・若林善夫(富士フィルム)

3-3 肌色画像に関する色の見え方

中川 力(大日本印刷)

#### 4. 色再現(2)(16:20~17:40)

座長 矢口博久(千葉大)

4-1 カラースキャナーにおける分光感度の新しい設計・評価法

山崎 徹(富士ゼロックス)

4-2 統合色信号変換アルゴリズムを使ったカラー画像処理

金森克洋・川上秀彦・小寺宏暉(松下技研)

4-3 ドットプリンタの用紙別色再現

○加藤幸彦・川上元郎・大熊良夫(東工芸大)

4-4 レーザゼログラフィにおける階調再現性の検討

田中 徹(富士ゼロックス)

### 第2日 11月16日(木) 9:20~17:40

#### 5. 色覚(1)(9:20~10:40)

座長 内川恵二(東工大)

5-1 ロボットの視覚—色覚を中心に—(招待講演)

山羽和夫(機械研)

5-2 非線形色知覚モデルにもとづくBezold-Brucke 効果の予測

納谷嘉信・五味 裕・亀井政昭(大阪電通大) ○橋本健次郎(松下電器)

5-3 周辺視野が色順応に及ぼす影響

大竹史郎・橋本健次郎(松下電器)

#### 6. 色覚(2)(11:00~12:00)

座長 瀧田隆義(東芝ライテック)

6-1 青刺激の空間的密度による明るさ及び色知覚の変化

岩井 彌・矢口博久・三宅洋一・久保走一(千葉大)

6-2 表面色の明るさとマンセルクロマ

佐藤雅子・塚越俊二・中村友久・黒崎貞子(千葉大) 大塚 聖(フジテレビ)

6-3 陸上、海上における視覚信号灯—交通信号灯と航海用パイの見え方—

中嶋芳雄(聖マリアンナ大)

#### 7. 配色(13:00~14:20)

座長 荒生 薫(東工芸大)

7-1 色彩の時系列変動を考える—女性服装色の事例—(招待講演)

近江源太郎(女子美大)

7-2 色票集の種類とその用途(招待講演)

平井敏夫(日本色研)

#### 8. 測色・表色(14:40~16:00)

座長 小松原仁(日本色研)

8-1 観測者メタメリズムのField Trial

○納谷嘉信・田中琢二(大阪電通大)

橋本健次郎(松下電器)

高浜幸次郎・側垣博明(電総研)

8-2 分光三刺激値合成方法による蛍光物体色測定

一条 隆(東芝ライテック)

8-3 金属感を与える物体色の測定

馬場護郎・森咲二郎(村上色研)

8-4 ビデオカメラでのRGB→HVC変換について

徐 錦林・野銅 享(静岡大)

#### 9. 色彩材料(16:10~17:30)

座長 野崎信春(富士フィルム)

9-1 酸化チタンと色(招待講演)

杉山明夫(チタン工業)

9-2 熱転写記録における色材の検討

鈴木重治・朽網道徳・志村美千男・山岸勝則(富士通研)

9-3 歯科補綴材料の色合わせにおける色予測方法の検討

松本和二(村上色研) 石川成美・石橋寛二(岩手医大)

閉会の辞(17:30~17:40)

第7回色彩工学コンファレンス実行委員長

## 第20回画像工学コンファレンス —Japan Imaging Technology '89—

画像工学コンファレンスは1970年に第1回が開催されてから今回で20回を迎えることになりました。その間、関連学会・研究会の共通の研究発表・討論の場として、日本の画像工学の研究開発の発展に大いに寄与してまいりました。本年は20回を記念して21世紀への対応を考えると共に新たな発展を期し第20回画像工学コンファレンスを開催することに致しました。

- (1) 20回記念企画「画像とヒューマンインタフェース」
- (2) 一般公募講演
- (3) 討論が十分にできるポスターセッション
- (4) 親睦を深める懇親会

さらに、'89 国際画像機器展（入場無料）を併催いたします。  
関連分野の方々の積極的なご参加を期待いたします。

期 日：1989年12月12日（火） 9:50～18:05  
13日（水） 9:10～18:30  
14日（木） 9:10～18:30  
（懇親会13日（水） 18:35～20:00）

会 場：ABC会館ホール（東京・芝公園）（地下鉄都営6号線・芝公園駅下車）

東京都港区芝公園2-6-3 ☎03(436)0430

参加費：加盟学会員	10,000円	} 論文集代を含みます
学 生	5,000円	
非 会 員	12,000円	
懇 親 会	4,000円	

申込・送金方法：

- (1) 申込期限 1989年11月20日（月）  
（これ以後は資料などの余裕がある場合受け付けます。）
- (2) 申込先 〒105 東京都港区浜松町2-12-14 第2日化ビル連企画気付  
第20回画像工学コンファレンス事務局  
☎03(433)2543 FAX03(433)2544
- (3) 銀行振込の場合 申込書に必要事項をご記入の上、お送りください（FAX可）。  
三菱銀行・浜松町支店（018）・普通預金・0062417  
口座名「第20回画像工学コンファレンス」
- (4) 郵便振替の場合 東京7-69769 口座名「画像工学コンファレンス」  
振替用紙の通信欄に、申込書と同じ事項をご記入ください（個人名は必ずお書きください）。  
（郵便振替のときは申込書は送らないでください。二重登録になりますので。）

\* 申込書または郵便振替用紙が届き次第、参加受付証をお送りします。

\* 懇親会参加ご希望の方は、懇親会費も併せてお送りください。

論文集：当日会場でお渡しいたします。欠席の方には終了後、郵送いたします。

論文集のみご希望の方には、10,000円で終了後、郵送いたします。

主 催：第20回画像工学コンファレンス実行委員会

（担当 画像4学会：画像電子学会、日本写真学会、電子写真学会、日本印刷学会）

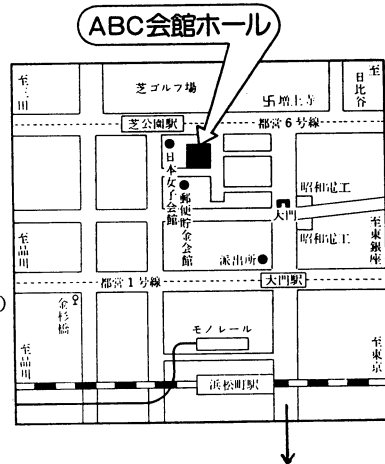
加盟学会・委員会：応用物理学会分科会日本光学会、テレビジョン学会・情報ディスプレイ研究委員会・視覚技術研究委員会・画像通信システム研究委員会・画像処理コンピュータビジョン研究委員会、画像応用研究委員会、電気学会・電子デバイス技術委員会・量子デバイス技術委員会、電子情報通信学会・画像工学研究専門委員会・パターン認識理解研究専門委員会、日本MIE学会、画像電子学会、日本写真学会、電子写真学会、日本写真測量学会、情報処理学会・コンピュータビジョン研究会・グラフィックスとCAD研究会、日本印刷学会、レーザー学会、日本医療情報学会、医用画像情報学会、計測自動制御学会・パターン計測部会、日本非破壊検査協会、日本医用画像工学会、SPIE日本支部。

89国際画像機器展（入場無料）

期 日 1989年12月12日～14日 会 場 東京産業貿易会館（港区・竹芝）

主 催 日本画像・計測機器協議会（☎03-367-0571）

\* コンファレンス会場と展示会場との間は、無料シャトルバスが走ります。



89国際画像機器展  
会 場  
東京産業貿易会館

## 支部だより

### 中部支部

#### 講演会

日時 平成元年10月20日(金) 15:00~17:00  
会場 名古屋工業大学附属図書館3階視聴覚室(名古屋市昭和区御器所町, JR・地下鉄鶴舞駅下車徒歩10分)  
演題 3-D Scene Description and Object Recognition R. Nevatia (南カリフォルニア大)  
参加費 無料(参加資格は問いません.)  
問合せ先 名古屋工業大学電気情報工学科 岩田 彰 Tel. 052 (732) 2111 (内 2627, 2861)

日時 平成元年10月31日(火) 15:00~17:00  
会場 三重大学工学部20番講義室(津市上浜町 1515)  
演題 これからのソフトウェア・システム開発の展望 花田 収悦 (NTT ソフトウェア研)  
参加費 無料(参加資格は問いません.)  
問合せ先 三重大学工学部電子工学科 大山口通夫 Tel. 0592 (32) 1211

日時 平成元年12月6日(水) 14:00~16:00  
会場 三重大学工学部20番講義室  
演題 ファジィ理論とその応用 松本 邦顕 (日立)  
参加費 無料(参加資格は問いません.)  
問合せ先 三重大学工学部電子工学科 木村文隆 Tel. 0592 (32) 1211

#### 専門講習会

——パソコンの応用技術——

日時 平成元年11月8日(水)~9日(木)  
会場 名古屋通信ビル 2階ホール(名古屋市中区千代田 2-15-18)  
定員 120名(先着順)  
会費 会員 10,000円(学生 5,000円), 会員外 15,000円  
申込方法 はがきに「住所, 氏名, 勤務先(電話番号), 所属学協会名」を記して10月20日(木)までに申込む。なお, 同時に会費を下記の方法で送金のこと。参加決定者には参加証を送ります。テキストは当日会場で渡す。テキストのみの申込みは受け付けません。  
送金方法 1. 現金書留: 申込内容を適当な用紙に記入し, 同封のこと。  
2. 銀行振込: 三井銀行本山支店(普通預金)口座名「電気学会東海支部専門講習会」  
口座番号 969-589へ振込む。その場合, はがきでの申込者は必ず銀行振込と明記のこと。  
申込先 464-01 名古屋市中区千種区不老町 名古屋大学工学部電気系教室内  
電気学会東海支部 Tel. 052 (781) 2222  
プログラム 前号本欄参照

——移动通信の将来と基盤技術——

期日 平成元年12月7日(木)~8日(金)  
会場 NTT データ通信 NTT DATA 東銀ビル3階 研修・会議室(名古屋市中区錦 2-17-21)

- 参加費** 11月30日までの予約（含テキスト代）  
正会員 8,000 円（学生 5,000 円）、非会員 12,000 円  
12月1日以降の予約～当日（含テキスト代）  
正会員 13,000 円（学生 10,000 円）、非会員 17,000 円  
\*テキストのみ、3,000 円/冊（送料込）
- 定員** 90 名（先着順）
- 申込方法** はがき大用紙に、①氏名、②勤務先と所属、③住所と電話番号、④所属学会を記入し、参加費を添えて現金書留にて下記事務局宛て申し込む。（注：消印をもって申込日時とします。なお、情報処理学会本部では扱いませんので注意してください。）
- 申込締切** 11月30日（定員になり次第締切ります。）
- 申込先** 460 名古屋市中区錦 2-17-21 NTT DATA 東銀ビル NTT データ通信(株)東海支社企画部内  
情報処理学会中部支部事務局 支部幹事 小川典孝 Tel. 052 (204) 4517

プログラム

7 日（木）

- |                              |                  |
|------------------------------|------------------|
| 開催挨拶（10：00～10：10）            | 本告 光男（中部支部長）     |
| 移動通信の姿と電波行政（10：10～11：30）     | 寺崎 明（郵政省）        |
| 移動通信の現状と将来像（12：40～14：00）     | 島 伊三治（関西テレターミナル） |
| 移動体データ通信の現状と将来（14：20～15：40）  | 吉川 貞行（NTT データ）   |
| 自動車電話システムとその将来像（15：40～17：00） | 向井 正（NTT）        |

8 日（金）

- |                                        |             |
|----------------------------------------|-------------|
| 開催挨拶（10：00～10：10）                      | 本告 光男       |
| 車社会における移動通信の役割（10：10～11：30）            | 水谷 集治（日本電装） |
| 移動対衛星通信用車載アンテナ（12：40～14：00）            | 西川 訓利（豊田中研） |
| 干渉とフェーディングに強い RZ SSB 通信方式（14：20～15：40） | 大黒 一弘（NTT）  |
| 移動通信の新しい信号処理（15：40～17：00）              | 岸 政七（愛工大）   |
| 閉会の辞（17：00～17：10）                      | 本告 光男       |

関 西 支 部

見 学 会

- 日 時** 平成元年 10 月 19 日（木）午後
- 見学先** 近鉄・運行指令所、電力指令所ならびに研究所
- 参加費** 無 料（ただし、交通費は各自負担）
- 問合せ先** 情報処理学会関西支部 Tel 06 (346) 2543

数値解析研究会

- 日 時** 平成元年 10 月 28 日（土）午後
- 会 場** 京都大学数値解析研究所
- テ ー マ** スーパーコンピューティングと並列処理  
数値解析と数式処理の界面—代数方程式系から—
- 参加費** 無 料（研究会登録者以外の方も参加できます）
- 問合せ先** 情報処理学会関西支部 Tel. 06 (346) 2543
- 小柳 義夫（筑波大）  
三井 斌友（名 大）

## セ ミ ナ

——オブジェクト指向ソフトウェア——

日 時 平成元年 11 月 24 日 (金)～25 日 (土)  
会 場 大阪科学技術センター (大阪市西区靱本町 1-8-4)  
プログラム オブジェクト指向総論 米澤 明憲 (東工大)  
オブジェクト指向 LISP 言語—CLOS— 井田 昌之 (青学大)  
オブジェクト指向言語—Small Talk 80— 上林 憲行 (富士ゼロックス)  
オブジェクト指向 C 言語—C++, COB, ObjectiveC— 上村 務 (日本 IBM)  
ユーザインタフェース構築ツール—NEXT を中心に— 下條 真司 (阪 大)  
オブジェクト指向データベース 牧之内顕文 (富士通)  
オブジェクト指向と知識ベース 横田 一正 (ICOT)  
(テーマ未定) 所 真理雄 (慶 大)  
参 加 費 (未定)  
問合せ先 情報処理学会関西支部 Tel. 06 (346) 2543

## 中国支部

### 支部大会案内

——平成元年度電気関係学会中国支部連合大会——

期 日 平成元年 10 月 29 日 (日)  
会 場 広島大学 (東広島市西条町大字下見)  
懇 親 会 10 月 29 日 (日) 特別講演終了後 会費 3,000 円  
なお、参加希望者ははがきで 10 月 19 日 (木) までに申込み、会費は当日受付で支払うこと。  
申 込 先 730 広島市中区小町 4-33 中国電力(株)営業部内  
照明学会中国支部 (山沢) Tel. 082 (241) 0211 (内 3353)

### 専門講習会

——知的システム構築のための技術的背景——

日 時 平成元年 11 月 10 日 (金) 9:30～17:30  
会 場 中国電力(株) 3-1 会議室 (広島市中区小町 4-33)  
定 員 100 名 (定員に達し次第締切ります)  
参 加 費 会員 8,000 円 (学生 4,000 円), 非会員 10,000 円, 共催学協会会員は会員資格があります。  
申込方法 はがきに「知的システム構築のための技術的背景に関する講習会申込み」と標記し, ①氏名, ②所属  
学会, ③勤務先, 連絡先, ⑤送金日, 送金額, を記入して下記, 申込先宛お申込みください。また,  
同時に参加費を銀行振込または現金書留にてご送金ください。  
送 金 先 広島銀行西条支店 普通預金 口座番号 185030 名義 情報処理学会中国支部  
申 込 先 724 東広島市西条町下見 広島大学工学部第二类 (電気系) 内 情報処理学会中国支部  
Tel. 0824 (22) 7111 (内 3443) Fax. 0824 (22) 7195 担当 中村庚二  
プログラム 支部長挨拶 (9:30～9:40) 山森 俊彦 (NTT データ)  
総 論「エキスパートシステム構築技術の動向」(9:40～10:40) 溝口理一郎 (阪 大)  
ニューロコンピュータの研究開発動向 (10:40～11:50) 小池 誠彦 (日 電)  
ファジィシステムの応用事例 (12:40～13:50) 松本 邦顕 (日 立)  
独自シェルの開発とその応用 (13:50～15:00) 渡辺 善仁 (マツダ)

ビジネスエキスパートシステムの応用事例—金融 ES の応用事例—

(15:10~16:20)

岩下 安男 (NTT データ)

パネル討論会 (16:30~17:30)

全 講 師

## 講 習 会

——生産技術におけるパソコンの利用—生産ラインでの活用例——

**日 時** 平成元年 11 月 17 日 (金) 8:55~17:00  
**会 場** 産業技術交流センター (広島市中区千田町 3-7-47)  
**定 員** 100 名  
**参 加 費** 会員 (協賛団体会員を含む) 10,000 円, 非会員 15,000 円, いずれも資料 1 冊代金を含む。資料のみ, または聴講者で 2 冊以上ご希望の場合 1 冊 4,000 円。  
**申込締切** 平成元年 11 月 13 日 (月)  
**申込方法** はがき, またははがき大の用紙に「生産技術におけるパソコンの利用」と題記し, ①氏名・会員資格, ②勤務先 (名称, 所属部課名, 所在地, 電話番号), ③通信先をご記入のうえ, 参加費を添えてお申込みください。なお銀行振込の場合はそのむねをお知らせください。  
**送金方法** 現金書留または銀行振込  
 広島銀行西条支店 普通預金 口座番号 051-1-0863238 精密工学会中国四国支部  
**申 込 先** 724 東広島市西条町下見 広島大学工学部第 1 類内 精密工学会中国四国支部  
 Tel. 0824 (22) 7111 (内 3263)  
**プログラム** 司会者挨拶 (8:55~9:00)  
 生産システムへの FA パソコン応用の事例と動向 (9:00~10:00) 和田 憲治 (日 電)  
 パソコンネットワークによる工程管理 (10:00~11:00) 犬田 真一 (日 立)  
 フレキシブルアセンブリーセンタ (FAC) でのパソコン活用 (11:00~12:00)  
 我妻 雄策 (キヤノン)  
 自動車生産におけるパソコンの活用 (13:00~14:00) 三枝 行雄 (ホンダエンジニアリング)  
 自動車の生産ラインでの活用例 (14:00~15:00) 内藤 正 (トヨタ自動車)  
 パソコンを使った高機能 FMS (15:00~16:00) 今城 忠浩 (牧野フライス製作所)  
 討論 (16:00~17:00)

## 四 国 支 部

## 講 演 会

**日 時** 平成元年 11 月 16 日 (木) 14:30~16:30  
**会 場** 高知工業高等専門学校視聴覚室 (高知県南国市物部字新開乙 200-1)  
**演 題** 神経生理学における情報処理 佐藤 隆幸 (高知医大)  
**参 加 費** 無 料 (参加資格は問いません)  
**問合せ先** 高知工業高等専門学校電気工学科 益弘昌典 Tel. 0888 (63) 3141

## 講 習 会

——ニューロコンピュータと情報処理——

**日 時** 平成元年 12 月 2 日 (土) 13:00~17:00  
**会 場** 徳島厚生年金会館 (徳島市南前川町 3-1-22)  
**定 員** 60 名

**参加費** 会員（賛助会員を含む）6,000 円（学生 1,500 円）、非会員 8,000 円（学生 2,000 円）、いずれも資料 1 冊代金を含む。資料のみ、または聴講者で 2 冊以上ご希望の場合は、1 冊 2,060 円。

**申込締切** 平成元年 11 月 17 日（金）

**申込方法** 下記の申込書にご記入のうえ、参加費を添えてお申込みください。

**送金方法** 現金書留または銀行振込  
阿波銀行助任橋支店 口座番号 0304244 情報処理学会四国支部

**申込先** 770 徳島市南常三島町 2-1 徳島大学工学部知能情報工学科内 情報処理学会四国支部事務局  
Tel. 0886 (23) 2311 (内 4744, 4752)

プログラム

ニューロコンピューティングの基礎 (13:00~14:00)	甘利 俊一 (東大)
ニューロコンピューティングの大気汚染濃度予測への応用 (14:00~14:40)	馬場 則夫 (徳島大)
ニューロコンピューティングの画像処理への応用 (14:40~15:20)	大松 繁 (徳島大)
パーソナルニューロコンピュータについて (15:30~17:00)	

菊地 喜康 (日電インフォメーションテクノロジー)

.....き り と り.....

ニューロコンピュータと情報処理講習会申込書

年 月 日

氏 名  
勤務先

名 称	
所 属	
所 在 地	
電話番号	

送金方法      現金書留      銀行振込 (○印でお示ください)



九州支部

情報処理九州シンポジウム

——高度知識処理——

**日 時** 1989 年 11 月 17 日（金）10:00~17:25

**場 所** 九州大学国際ホール（福岡市東区箱崎 6-10-1 箱崎キャンパス）

**プログラム** 知的 CAD

医学生物学における人工知能の応用  
感覚運動制御の神経回路モデル  
コネクショニストモデルと認知情報処理  
フラストレーションに基づく学習の理論  
データベース質問処理への類推の応用

長谷 勲 (九工大)  
田中 博 (浜松医大)  
川人 光男 (ATR)  
安西祐一郎 (慶大)  
元田 浩 (日立)  
原口 誠 (東工大)

参加費 会員 3,000 円 (学生 1,000 円) 非会員 4,000 円 (学生 1,500 円)

申込先 812 福岡市東区箱崎 6-10-1 九州大学中央計数施設内  
情報処理学会九州支部 Tel. 092 (641) 1101 (内 5985 (仲田))

なお、10月31日までに現金書留か、銀行振込で送金ください。

福岡銀行箱崎支店 普 1313695 情報処理九州シンポジウム

情報処理九州シンポジウム参加申込書

No.

氏名

所属

住所と電話番号

会員、学生会員、非会員、学生非会員 (○印でお示ください)

本会協賛等の行事案内\*

システム制御情報チュートリアル講座'89「制御工学へのガイド・ライン」

平成元年11月2日(木)、10日(金)、13日(月)、22日(水)、12月1日(金)

大阪・なにわ会館

平成2年1月11日(木)、12日(金)、17日(水)、19日(金)、26日(金)

東京・ダイヤモンド社

講習会「HDTV (ハイビジョン)」

平成元年11月9日(木)～10日(金)

東京・機械振興会館

第1回 画像入力シンポジウム

平成元年11月13日(月)

東京大学生産技術研究所

日本機械学会特別講演会「感性の計測」

平成元年12月1日(金)

東京・食糧会館

セミナー「画像処理の基礎と応用」

平成元年12月19日(火)～21日(木)

東京・機械振興会館

文部省科研費重点領域研究 第3回 公開シンポジウム

平成2年2月2日(金)

東京・機械振興会館

システム制御情報チュートリアル講座イーブニングスクール(E)コース

平成2年2月2日(金)、9日(金)、16日(金)、23日(金)、3月2日(金)

東京・蔵前工業会館

第11回 計算電気・電子工学シンポジウム

平成2年3月29日(木)～30日(金)

東京・(財)日本科学技術連盟

\* 詳細は本号会議案内欄参照

学会誌送本先の住所等の変更届について (お願い)

勤務先、自宅住所に異動のある方は、必ず所定の「変更連絡届」用紙(本号末尾に添付)にて氏名、会員番号を付し、早速にご連絡ください。異動の受付は毎月20日締切り、翌月号から変更となります。21日以降受付分の変更は翌々月号からとなりますのでご注意ください。